

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/Ubuntu Japanese Team（吉田史、水野源、柴田充也、あわしろいくや、小林準）
- マンガ/梶田道也（<http://www.masuseki.com/>）
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.01」（<http://ubuntu.asciimw.jp/>） 2009 年 9 月 29 日発行

Ubuntuが ズバッと わかる! 基本用語 256

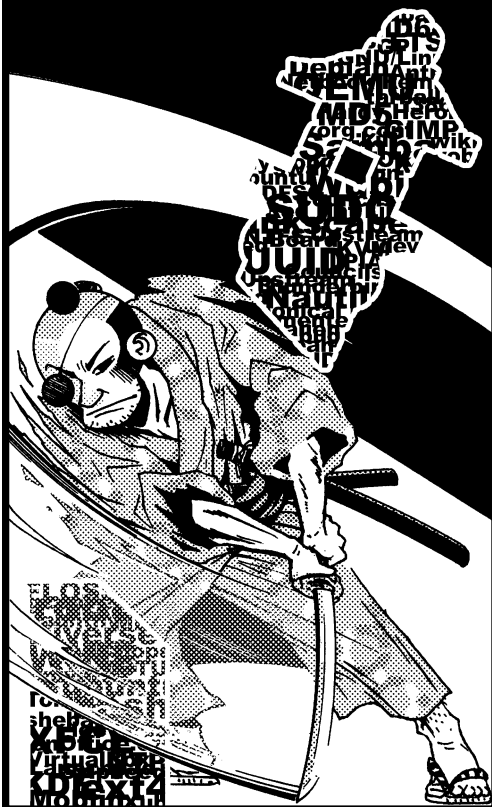
保存版

!!

が

用語なんか知らなくても、なんとなく使えてしまう、Ubuntu。だけど、深く知れば知るほどおもしろくなる、そんな基本用語256を徹底解説!

●文/Ubuntu Japanese Team(吉田史、水野源、柴田充也、あわしろいくや、小林準) ●マンガ/榊田道也



アクセス権

操作

Unix、Linuxではファイルやディレクトリに対し、「読み取り(R)、書き込み(W)、実行(X)」の許可(パーミッション)を、「所有者のユーザ」「所有者のグループ」「その他のユーザ」それぞれに設定できる。こうした許可のことをアクセス権といい、アクセス権のない操作は行うことはできない。たとえば「実行」権限がないプログラムは実行できないし、「書き込み」権のないファイルにデータを保存することはできない。「読み込み」権のないファイルに対しては、中身を覗くことすら許されない。なお「ファイルの変更」を行うためには対象ファイルへの書き込み権があればいいが、「ファイルの新規作成」や「削除」を制御するのは「カレントディレクトリへの書き込み権」である。「Permission Denied」エラーが出た場合は、まずアクセス権が与えられているかを確認しよう。アクセス権はファイルのアイコンを右クリックして「プロパティ」を開き、「アクセス権」タブで確認できる。

アップグレード

プロダクト

古いバージョンのUbuntuを、より新しいバージョンに更新すること。Ubuntuでは、ひとつ前

のバージョンからのアップグレードと、ひとつ前のLTS(長期サポート版)から次のLTSへのアップグレードがサポートされている。たとえば、9.04から9.10や、6.06 LTSから8.04 LTSへのアップグレードは可能だが、8.04 LTSから9.04に直接アップグレードすることはできない。その場合、まず8.10にアップグレードし、それから9.04へのアップグレードを行うことになる。

アップデート

パッケージ

古いパッケージを新しくリリースされたパッケージに置き換えること。セキュリティホールや重大なバグが見つかった場合、それらを修正した新しいパッケージがリリースされる。デスクトップ版では、アップデートの必要がある場合に「アップデート・マネージャ」が自動で起動し、ユーザにアップデートの実行を促す。

アプレット

操作

アプリケーションの中で動く「小さなアプリケーション」のような意味。Ubuntuでアプレットと言った場合は、GNOMEのパネルに追加するアプレットを指すことが多いようだ。これはGNOMEデスクトップの上下にあるパ

アンマウント

操作

マウントしたデバイスを、もとの「マウントされていない」状態に戻すこと。USBメモリやUSB HDDなどの書き込み可能デバイスは「書き込まれていないデータ」(遅延書き込みデータ)が存在するため、実際に抜き挿しする前に必ずアンマウントすること。さらにCDROMなどはマウント状態ではイジェクトできない。

アーカイブサーバ

パッケージ

「ソフトウェア・ソース」で指定する「ダウンロード元」となるサーバ。各種パッケージを蓄積し、aptやSynapticからパッケージをダウンロードできるようにするためのもの。ごく一部の公式サーバを除くと、世界中のボランティアによって多くのサーバが運営されている。アーカイブサーバはかなり膨大な容量のデータを蓄積しているため、管理者に容量を尋ねると、「え、ほんの300GBしかないですよ、小さい小さい」などという世間一般からするとズレた発言も見られる。

依存関係

パッケージ

「あるパッケージが動作するために必要なもの」という観点でパッケージ同士の関係を表現したもの。たとえば、bashスクリプトを含んだパッケージであれば動作にbashが必須になるので、「パッケージ○○はbashに依存する」などと表現し、依存関係と呼ぶ。「apt-get」やSynapticはパッケージのインストール時に依存関係を自動的に解決してくれるが、バグや操作ミスで依存関係が壊れると「インストール候補がありません」などという冷たいメッセージを吐くようになる。

依存関係



用語 008

ウィジェット

デザイン

1. Unixデスクトップにおいて「GUIの部品」の意味。「Window Gadget」の省略形と言われているが、もともと英語には「Widget」という単語が存在する(こちらは「パーツ」といった意味)。

2. デスクトップ環境のボタンやウィンドウの枠などを指す。「デスクトップに貼り付いて機能する、グラフィカルなアプリケーション」(Windows Vistaのサイドバーに常駐する時計など)のこと。「デスクトップ・ウィジェット」の省略表現。

用語 009

ウィンドウ・マネージャ

デザイン

ウィンドウシステムにおいて、ウィンドウの位置や挙動、見た目を管理するためのソフトウェア。Xはあくまでウィンドウシステムの基幹部分をなすだけであり、ユーザ・インタフェースについては各種ウィンドウ・マネージャがその役割を担っている。そのためユーザは自分好みのウィンドウ・マネージャを選択できる。Ubuntuでの標準は「Metacity」。3Dデスクトップを実現するコンポジット型ウィンドウ・マネージャである「Compiz」や、「Rapportion」のようなタイル型ウィンドウ・マネージャも存在する。

用語 010

エンブレム

デザイン

ファイルやフォルダにより多くの情報を付加するためのNautilusの機能。わりと古いバージョンのNautilusでも実装されている機能だが、パーミッションがないことによる鍵アイコンを除外して、ストレージサービスの「Dropbox」以外では有効に使われているケースがほとんどないというが現状である。……とながら言われてきたが、9・10ではホームディレクトリ以下の文書・画像などのディレクトリにもエンブレムが追加され、識別しやすくなる予定。

ファイルにマーク



■「dropbox」(<http://www.getdropbox.com/>)を導入すると同期状態を示すエンブレムが表示される。

用語 011

お気に入りのアプリ

操作

ブラウザやメール、マルチメディアプレイヤーなど、複数のアプリの中から、自分が使いたいアプリのアプリを指定する設定メニュー。[システム]・[設定]「お気に入り」

用語 012

オープンソース

コミュニティ

Open Source Initiativeによる「オープンソースの定義」を満たすソフトウェアのこと。一般的には「ソースを公開し、改変を認めていればオープンソースである」というような誤解をされることが多いが、「オープンソースの定義」を満たさないソフトウェアは、ソースを公開していてもオープンソースとは呼べない。「ソースの公開」と「オープンソース」は異なることに注意しよう。また、オープンソースだからといって無償で配布する必要はなく、有償で販売しても構わない。

用語 013

カイゼンプロジェクト

コミュニティ

Ubuntu Japanese Teamの活動のひとつ。日本のユーザがUbuntuを利用して遭遇した問題をバグとして登録してもらい、問題の解消につなげるための場所。
[<https://launchpad.net/ubuntu->

用語 014

隠しファイル、隠しディレクトリ

知識

ip-improvement」でアクセスできる。なお、「改善」ではなく「カイゼン」なので注意。

ファイルマネージャや「`ls`」コマンドで、通常では表示されないファイルやディレクトリのこと。具体的にはファイル、ディレクトリの名前の先頭が「`.` (ドット)」ではじまるものを指し、各アプリケーションの設定などが記述されているファイルは、大体がこの隠しファイルとなっている。これらのファイルを表示させたい場合は、GNOMEのNautilusであれば「`Ctrl` + 「`h`」キーを押す、「`ls`」コマンドであれば「`.`」オプションをつけるなどをする必要がある。

用語 015

カレントディレクトリ

操作

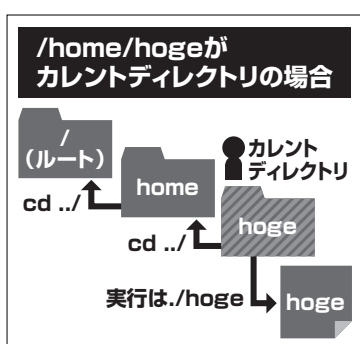
「自分が現在いるディレクトリ」のこと。この「現在のディレクトリ」をカレントディレクトリと言い、デフォルトではシェルのプロンプトの「ユーザ名@ホスト名」の部分に続いて表示される。コマンドラインからファイル指定する場合、単にファイル名だけを記述した場合は「カレントディレクトリのファイル」を意味するため、現在自分がどのディレクトリにいるかを

用語 016

完全削除指定

操作

Synapticのパッケージ操作のうち、「設定ファイルを含めたすべての関連ファイルを削除する」もの。「`apt-get`」では「`purge`」に相当する。「設定ファイルを含めた削除」となっているが、ここで消される設定ファイルは「`/etc`」以下などにある、システムに関わるファイルのみである。ユーザのホームディレクトリにはしつかりファイルが残っているので、隠しディレクトリなどを含めてきちんと確認する必要がある。



意識しておく必要がある。なおカレントディレクトリにあるプログラムを実行する場合は、ファイル名とは異なりプログラム名だけでアクセスすることはできず、必ず先頭にカレントディレクトリを表す「`.` (ドット)」を付加して「プログラム名」と入力する必要がある。ので注意しよう。また、ディレクトリの移動にはWindowsと同じく「`cd`」コマンドを用いる。

用語 017

管理者

操作

文字どおり、コンピュータを管理する人。Unixではrootユーザそのもの、あるいは「sudo」などでroot権限を取得できる人のことを指す。Ubuntuではrootユーザは存在せず、また、sudoによるroot権限の取得はadminグループに所属するユーザのみが行えるため、「adminグループに所属するユーザ＝管理者」となっている。

用語 018

カーネル

Unix

OSのもっともコアにあたる部分。各種プロセスの生成やファイル・デバイスへのアクセスなどを制御している。ドライバ類はカーネルの支配下で動作するのが通例。端末で「uname -a」と入力して表示される情報はカーネルのもの。意識するのはLinuxなどのUnix系OSだけだが、実はWindowsにもカーネルは存在している。

用語 019

起動オプション

操作

その名のとおり、何かを起動する時のオプション。その「何か」は、Ubuntuそのものだったり、

なんらかのソフトだったりする。例えば、Ubuntu起動中にbusyboxに落ちる場合は、「all generic ide」という起動オプションをつけて起動すると、うまくいくことがある。あるいは、端末から「OpenOffice.org」を起動する「office」というコマンドを実行する。その際、「writer」という起動オプションをつける。「Writer」が起動する。

用語 020

キーバインド

操作

キーボード操作における、「あるキー操作がどのような機能呼び出すのか」という設定の総称。「バインド」「キーボードショートカット」とも。たとえば「Ctrl + [c]」キーでコピーが機能するように設定することを「コピーをCtrl + Cにバインドする」などと表現する。「gnome-keyboard-properties」で呼び出されるキーボードレイアウトの変更なども「キーバインド」である。「キーバインド」は厳密には「ショートカット」よりも意味が広く、「[c]」キーを押すとカーソルが右に動く」といったものも「キーバインド」である。

用語 021

キリング

操作

鍵を集めた束。具体的には「/gnupg」以下にある、取得/生

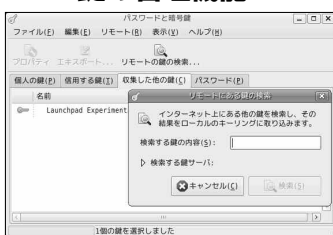
用語 022

クライアント

知識

コンピュータ分野では、何らかの「サーバ」に接続してサービスを受けるアプリケーションのことを指す。例えば「ウェブブラウザ」はウェブサーバに接続してほしいページを取得するクライアントの一種であり、メールサーバに接続してメールを取得するアプリケーションは「メールクライアント」と呼ばれる。何がしかの接続先の存在が前提であるという点で、テキ

GPG鍵の管理機能



■ふだん使うことはあまりないが、PPAなどでパッケージを公開するときなどに鍵が必要となる。

成したGPG鍵を集めたファイルのこと。誰かに暗号化メールを送ったり、誰かの電子署名を検証するためには、その相手の公開鍵を取得し、所持しておく必要がある。そうして取得した鍵を集めておくのがキリングである。GNOMEのメニューにある「アプリケーション」・「アクセサリ」・「パスワードと暗号鍵」を使えばGUI画面からキリングの管理、つまり鍵の取得、鍵の信用度の設定と署名、自分の秘密鍵のパスフレーズの変更などが行える。

用語 023

グループ

操作

Unix系のOSのアクセス権に関する考え方のひとつ。ユーザを「グループ」に分けて権限を与える。たとえば、「管理者のみがアクセスできるディレクトリ」を作りたい場合、「管理者グループ」のみにアクセス可能（パーミッションとしては「root:admin:drwxr-x-」）という形でアクセス許可を設定することで実現できる。あとは管理者に該当するユーザを「adminグループ」に所属させれば、このディレクトリは管理者専用として扱われる、というわけである。

用語 024

ゲストセッション

操作

Ubuntu 8・10より搭載された、現在のログインユーザによる作業を終了せず、一時的なユーザによって新たにマシンへログインする操作のこと。GNOMEパネルの右上にある「ユーザの切り替え」アプレットから「ゲストセッション」を選択すると、現在のデスクトップがロックされ、/tmp以下にゲスト用の一時的なホームディレクトリが作成された上でゲストユーザによるログインができる。

用語 025

公開鍵 (GPG・PGP)

パッケージ

ようになる。一時的に自分のPCを他人に使わせる場合に便利な機能だ。

リポジトリを追加したら



■PPAのリポジトリを追加すると、その公開鍵も同時に取得、インポートする必要があります。

GPG、GPGとは公開鍵暗号と呼ばれる暗号技術の一種。公開鍵と秘密鍵という鍵のペアを用いて、データへの電子署名や、データの暗号化を行うことができる。Ubuntuではリポジトリが秘密鍵を用いてパッケージに署名を行っており、パッケージをインストールする時に署名を検証することで、パッケージの改ざんを検出している。この操作はaptでのパッケージ取得時に自動的に行われているが、署名を検証するためにはリポジトリの公開鍵を取得しておく必要がある。Ubuntuオフィシャルの公開鍵は最初から登録されているが、リポジトリを自分で追加した場合は「apt-key」コマンドや「ソフトウェア・ソース」から、取得した公開鍵をインポートしておく。

用語 026

コマンドヒストリ

操作

コマンドラインから実行したコマンドは、ヒストリと呼ばれる履歴に記録されている。カーソルキーの「↑」や「Ctrl」+「P」キーで履歴をさかのぼることができ、過去に実行したコマンドは再入力の手間を省くことができる。また「Ctrl」+「R」キーを使うことでヒストリの検索も可能である。ヒストリの機能をうまく活用すれば、コマンド入力を大幅に簡略化することができる。

用語 027

コマンドライン

操作

キーボードからの入力によってユーザからのコマンドを受け付け画面に表示される文字によって結果を返す、テキストベースの対話型インタフェースのこと。初心者が見たら「パソコンが壊れてる」と勘違いするかもしれない、あの黒い画面に白い文字がコマンドライン・インタフェース(CLI)である。大丈夫、噛みつかないから。怖くないよ。

用語 028

コンソール

操作

Xを起動していない状態の、黒

用語 030

コーデック(CODEC)

操作

MPEGなどで圧縮された動画・音声などを展開し、人間が視聴可能な形式に戻すためのプログラム。「デコーダ」とも呼ばれることがあるが、コーデックは本来は圧縮・展開の双方に対応するものを呼ぶ。MP3やWMVなどさまざまなコーデックがあるが、Ubuntuでは再生に対応していない形式のファイルを見つけた場合、自動的にインストール可能なコーデックを検索、インストールするしくみが搭載されているので、ユーザがコーデックを揃えることを意識することはほとんどない。

用語 031

再インストール指定

パッケージ

Synapticでのパッケージ操作のひとつ。「あるパッケージの構成ファイルを、もう一度インストールする」という機能をもつ。誤って構成ファイルを壊してしまった場合などに用いる。「apt-get」では「apt-get install -reinstall」に相当。

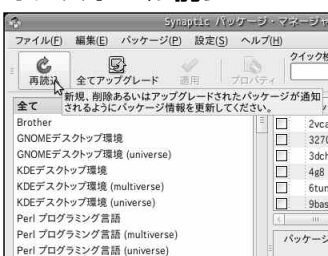
用語 032

再読込

パッケージ

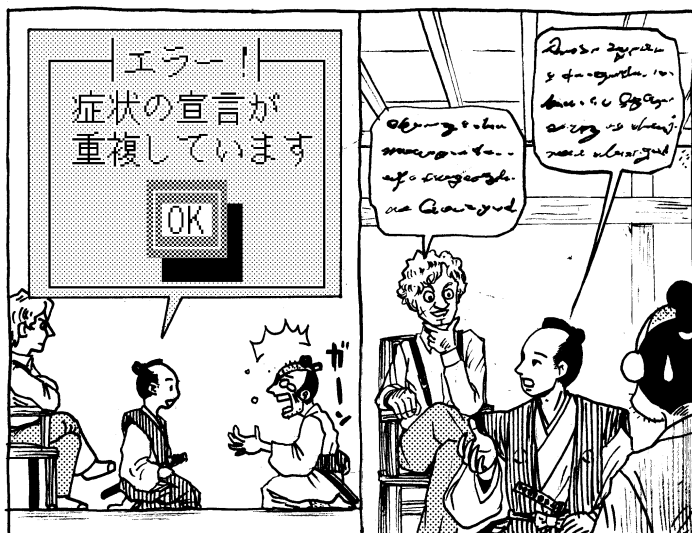
Synapticでの操作のひとつ。名前は地味だが、「アーカイブ

インストール前に



■最新のインデックスにするためにインストール前には、再読込をしておこう。

コンパイル



用語 033

削除指定

操作

Synapticでのパッケージの操作のうち、アンインストールに相当するもの。「apt-get」では「remove」に相当する操作。パッケージによってインストールされたファイルのうち、設定に関わらないものをすべて削除する。アプリケーションの設定ファイルは残るので、トラブルシューティング時に「一度アンインストールしてからやり直そう」と思って、この操作を行っても役に立たないことが多い。そうした場合は完全削除指定を使ってから再度インストールをするべきである。

用語 034

サポート

パッケージ

一般的な意味では「補助」などの意味だが、パッケージにおける「サポート」とは、「誰かが責任を持って問題に対応します」という意味である。操作のしかたなどを手取り足取り教えてくれるわけではないが、バグや脆弱性があれば対応してくれる。Ubuntuの場合、リポジトリのmainコンポーネントにあるパッケージはカノニカルの社員が、universeにあるものはボランティアがサポートを行うことになっている。restrictedとmultiverseはパッケージによって異なる。

用語 035

サービス

操作

「サーバ」で動作する、「サーバ」として、クライアントに機能を提供する何かのこと。Unixにおいては、「単一」または複数のデーモンが動作することによって、何らかの機能を提供するもの」といった意味。たとえばFirefoxがウェブサイトにアクセスする場合、そのウェブサイトではHTTPデーモンやデータベースなどが動いており、これらを総称して「サービス」と呼ぶ。個別の機能を指す場合はHTTPサービスやDBサービス、などと呼ぶ。「サービスが落ちている（ので、クライアントに機能を提供できない）」といった形で使う。「システム」「システム管理」「サービスの管理」で、そのシステムで利用できるサービス一覧を確認できる。

用語 036

シェル

Unix

主にコマンドラインインタフェースを持ち、ユーザからの命令を受け取ってプログラムの起動や制御を行うためのプログラムをこう呼ぶ。「sh」、「bash」、「csh」、「zsh」など様々な種類があり、ユーザが自分の好みによって変更することができる。GNU/Linuxの標準シェルはbash。ちなみにシエル（殻）という名は、カー

用語 037

シェルスクリプト

Unix

シエルのもつ変数、ループ、条件判定といった機能を利用して作られた、シェル上で実行するプログラムのこと。Windowsでいうバッチファイルをイメージしてもらうとよい。使いこなせば非常に便利で強力であるが、「ディレクトリの中身をまるごと削除」のようなことも簡単にできてしまうため、どこかで拾ったスクリプトを、意味もわからず実行したりすると危険である。

用語 038

視覚効果

デザイン

デスクトップに表示される各種ウィンドウやダイアログなどを、アニメーションさせたり、半透明で表示したりするための機能。Ubuntuではというか、ほとんどのLinuxデスクトップユーティリティではCompizを使って実現されている。「デスクトップエフェクト」、「3Dデスクトップ」、「Desktop Composite」などとも呼ばれる。やりすぎると派手すぎてうっとうしいが、全くと今度は寂しくなるジレンマが。カスタマイズを始めるより時間やそこらは飛んでいく時間泥棒でもある。

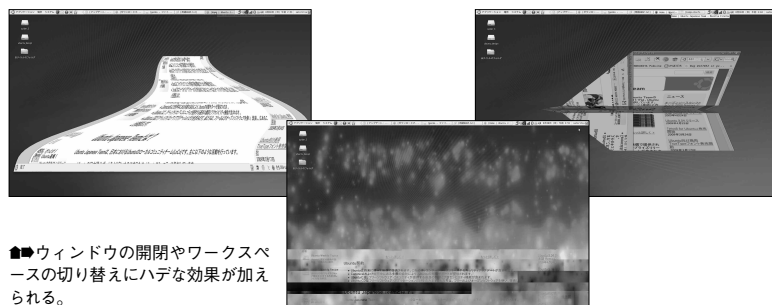
用語 039

実行ファイル

Unix

ダブルクリックなどで「実行できる」ファイルの総称。「Executable」。Windowsでは「.exe」の拡張子がつくファイルのことだが、Unixでは「実行権限」が付与されたファイル全般を指す。詳しくは「権限」の項目参照。実行ファイルの中身はC言語をコンパイルしたELFバイナリであったり、シェルスクリプトであったり、各種スクリプト言語であったりさまざま。

Compizの3D効果



■ウィンドウの開閉やワークスペースの切り替えにハデな効果が加えられる。

用語 040

シンボリックリンク

Unix

リンクの一種。「このファイルの中身は○○というファイルと同じ○○を見よ」という案内板を立てておいて、そのファイルを参照したい場合はその案内先のファイルを見る、という動作をする。ハードリンクとは異なり、「ファイルはここにあるよ」という情報だけを取り扱うため、その参照先であるファイルが削除されてしまった場合、シンボリックリンクも機能しなくなる。代わりにファイルシステムやネットワークをまたいでアクセスすることが可能。Windowsでいうショートカットに近い存在だ。Ubuntuではファイルアイコンを右クリック、コンテキストメニューの「リンクの作成」で簡単に作成できる。

用語 041

スプラッシュ

デザイン

「ソフトウェアが起動され、操作できるようになるまで」の間に、仮に表示されるロゴなどの総称。「OpenOffice.org」を起動した際に表示される、画面中央に表示されるロゴなどが「スプラッシュ」である。これが表示されることで「起動操作をしたはずなのに無反応だ、おかしい」などとユーザーは混乱しなくてすむ、といったメリットがある。

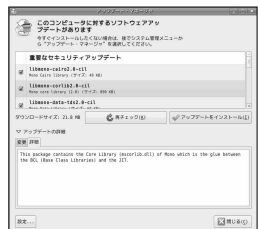
用語 042

セキュリティアップデート

パッケージ

リリース後に発見されたセキュリティ脆弱性を修正するためのアップデート。コンピュータを危険にさらすことになるので、できるだけ早急に適用することが望ましい。セキュリティアップデートが存在する場合は、アップデート・マネージャが起動し「重要なセキュリティアップデート」として表示されるので、適用するには「アップデートをインストール」をクリックするだけでよい。セキュリティに関する詳細は「Ubuntu Security Notices (http://www.ubuntu.com/usn)」などに掲載されている。

用語 043



「重要なセキュリティアップデート」という表示が出たら、できるだけ早くアップデートをしておこう。

用語 043

セッション

操作

「あるひとつづきのもの」を指す単語。本来は音楽の演奏（ジャズセッション等）を指すが、PCでは複数の意味に使われる。Ubuntuでしばしば使われるもののひとつは「ログインしている間」のこと、ログインしてからログアウト

するまでを「セッション」と呼び、ログアウトのことを「セッションを終了する」と表現する。その他、ウェブサイトに接続した状態で行われる一連の操作など、「一連の操作」を示す単語はほとんどが「セッション」と呼ばれる。

用語 044



シャットダウンは「セッションを終了（＝ログアウト）してから電源を切る」という意味。

用語 044

セーフグラフィックスモード

操作

Ubuntuの起動モードのひとつで、「最低限の機能だけを有効にしたグラフィックドライバ」で起動するモード。グラフィック周りの問題に遭遇して、画面が真っ白・真っ黒・砂嵐など、正常に表示されない場合に利用する。内部的にはvesaドライバ（汎用のグラフィックドライバ）で起動している状態。この状態ではどんなに高速なビデオカードを搭載していても、極端にウィンドウの描画が遅く、また、デスクトップ効果も利用できない。できるだけ最低限の利用で済ませるべきなのが、世の中にはドライバのバグでセーフグラフィックスモードでしか起動しないシステムも存在したりする。ちょっと悲しい。

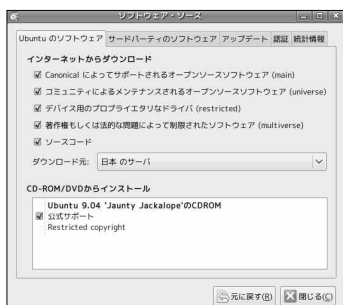
用語 045

ソフトウェア・ソース

パッケージ

リポジトリとアップデートに関する多種多様な設定を管理できるプログラム。パッケージの取得元として4種類のコンポーネントやCD-ROMから選択したり、アップデートポリシーを変更したり、パッケージ提供元の公開鍵を登録できる。PPAを利用する場合は、まずこれを使ってリポジトリを登録することになる。「システム」、「システム管理」、「ソフトウェア・ソース」で登録できる。

用語 046



リポジトリの追加や、公開鍵の登録はここで行う。Synapticの「設定」、「リポジトリ」からも呼ばれる。

用語 047



ライブCDで起動し、F4キーを押すとセーフグラフィックスモードを選択。

用語 046

ソースコード

Unix

人間が記述した、プログラムのもととなるテキストファイルのこと。このファイルをコンパイルすることで、実際に動作可能なプログラムが出来あがる。

用語 047

端末（ターミナル）

Unix

GUI環境において、「コマンドライン操作を行う」ためのソフトウェアを利用している環境で、そのコンピュタに接続するための、機能の少ない小型マシン（現代でいう「シンクライアント」のこと）：なのだが、現在のPCではあまりそうした呼び方をせず、コマンドライン操作のためのソフトの意味のほうが強い。Ubuntuでの標準は「gnome-terminal」。「アプリケーション」、「アクセサリ」、「端末」で起動できる。

端末



背景を透過画像にしたり、タブ表示ができるなど、高性能なターミナルだ。

用語 048

チェインローダ

操作

あるブートローダから、別のブートローダを起動すること。図にすると、数珠つなぎや鎖のつながりのように見えることからこう呼ばれる。たとえばGRUBで起動した後、特定のパーティションにあるNTLDRを起動する、というような設定を行うことを言う。GRUBなどの一部のブートローダで使われる単語。初心者がデュアルブートにしようとした場合の敵のひとつである。

用語 049

中クリック

操作

マウスの真ん中のボタンをクリックすること。古典的Unix向けのマウスは3ボタンで、「中央ボタン」にはペーストが割り当てられていた。これは、「文字列をドラッグして選択した範囲」を中央ボタンクリックによってペーストするという動作である。慣れれば非常に楽にコピー＆ペーストを行うことができ、古代からUnixに触れているユーザーにとっては便利な機能である。ホイールマウスの場合、ホイールを押す込むことでこの機能を利用できることが多い。また、中ボタンもホイールも持たないマウスであっても左右両方のボタンを同時にクリックすることで同じ操作ができる。

用語 050

追加と削除

操作

Ubuntuにおけるアプリケーションの追加や削除を行うメニューのひとつ。Windowsのコントロールパネルにある「プログラムと機能」(Vista)や「アプリケーションの追加と削除」(XP)に相当するが、はるかに膨大な種類のソフトウェアを導入することができる。

追加と削除..



キーワードによる検索や人気度などで好みのアプリが探せるうえ、インストールまでできる便利ツール。

用語 051

通知スペース

操作

各種アプリケーションやユーティリティのアイコンを表示するための場所。Ubuntuの標準状態では画面の右上、時計表示の左の部分に割り当てられている。ネットワーク・マネージャなどがアイコンをアニメーションさせて「ネットワークに接続中である」ことを通知したりしているが、そのあたりが通知スペース。Windowsでは俗に「タスクトレイ」などと

用語 052

ディストロビューション

操作

Linuxカーネルをはじめとする各種フリーソフトウェアは誰でも自由に使うことが出来るが、Linuxを実際にOSとして動作させるためには、カーネルをはじめ各種ドライバやツール、アプリケーションを集め、組み立てる必要がある。しかしこれは非常に大がかりで難易度の高い作業となる。そこでユーザが簡単に利用したりインストールしたりできるように必要なプログラム一式をまとめ、OSの形にしたものがディストリビューションである。代表的なLinuxディストリビューションに、「Ubuntu」「Debian GNU/Linux」「Fedora」「openSUSE」などがある。

用語 053

ディレクトリ

Unix

ファイルシステム上において、ファイルを分類、整理するための入れ物。デスクトップ環境で「フォルダ」と呼ばれるものと同じと考えて差し支えない。Unixではルートディレクトリを頂点とする階層ツリー構造をとり、すべてのディレクトリは唯一の親ディレクトリを持つ。

用語 054

適用

操作

主にGUIのアプリケーションで、操作や設定の変更などを実際に行うための操作。例えばSynapticでソフトウェアをインストールする場合は、インストールしたいソフトウェアを選択した後に、「適用」と書かれたボタンをクリックすることで始めてインストール作業が実行される。

用語 055

デスクトップ環境

知識

統一した見た目と操作性を提供する統合GUI環境のこと。なんのこともなくわからないかもしれないが、GNOMEやKDE、Xfceなどが代表的。アプリの集合として作られており、たとえばGNOMEなら、ウィンドウ・マネージャの「Metacity」、ファイル・ブラウザの「Nautilus」などが組み合わされている。「ひとつ使い方がわかれば、同じ操作でなんとなくそれなりに使えるような気がするアプリ一式」がデスクトップ環境、と考えるとよい。アプリケーション間での操作性に違いが出ないよう、アプリ開発者は、「HIG (Human Interface Guideline)」を遵守することが求められる。

用語 056

デーモン

Unix

Unixにおいて、「何か特定の作業を司るプロセス」を意味する単語。要するに「裏方でがんばってるコビトさん」だと思っておけばよい。デーモンとしてバックグラウンドで動作するプロセスは、名前の最後に「d」が付くのが通例である(例:ntpd)。このデーモン、悪魔(Demon)ではなく、守護霊(Daemon)なのだが、海の向こうでは定期的に「デーモンだ?! 悪魔崇拝だ、けしからん! 名前を変えないと地獄行きだぞ!」などというリアル宗教論争が発生している。大変恐ろしい。



用語 057

ドライバ

知識

OSとハードウェアの間に、「OSがどうやってハードウェアを制御すればよいのか」を指示するプログラム。ドライバがOSとハードウェアを仲介することでハードウェアは動作する。ありとあらゆるハードウェアにはドライバが必要で、Linuxカーネルには膨大な数のドライバがあらかじめ含まれている。

用語 058



◆デジタルカメラなどはUSBでつながだけで認識されるので、写真のインポートもらくちんだ。

用語 059

日本語環境セットアップ・ヘルパ

知識

Ubuntu Japanese Teamで作成している、「日本語で利用するユーザーにとって便利なアプリケーション」を、GUIから追加するためのユーティリティ。「システム」、「システム管理」、「日本語環境セットアップ・ヘルパ」から起動する。ちなみに、中身はbashとzenityで作られたやつつけ仕事で、「こんなに長く使うことにな

用語 060

日本語Remix CD

プロダクト

るとは」と作者であるJapanese Teamのリーダーがグチっている光景がまれに目撃される。

Ubuntu Japanese Teamで作成、配布している「日本のユーザにとって使いやすいカスタマイズを施した」Ubuntu。日本語環境が標準で整備されるほか、「Japanese Team」のリポジトリがデフォルトで有効になっているなどの違いがある。「日本語環境セットアップ・ヘルパ」が標準でインストールされるため、日本人向けのアプリケーションを簡単に導入できるのもうれしいところ。

用語 061



◆日本語環境で使いたいソフトやフォントを簡単にインストールできる独自機能はインストール直後に使いたい。

用語 062

ノンフリー

パッケージ

DFSGに合致しないライセンスによって提供されているパッケージのこと。Ubuntuではmmltiverseコンポーネントで提供され

用語 063



◆グーグルのアプリやSkypeなどは無料ではあるが、フリーソフトウェアではない、ノンフリーのアプリだ。

る。例えばサン・マイクロシステムズの「Java Virtual Machine」など、それ自体はフリーなもの、ノンフリーなパッケージに依存しているパッケージは、DebianではContribコンポーネントに置かれるが、Ubuntuではmmltiverseに一緒にされる。

用語 064

バイナリ

知識

直訳では「二進数」だが、Unixでは「コンパイル済みのプログラム」や「人間に読めないデータ」という意味で使われる。「バイナリのみで配布」という表現は、ソースコードを公開せず、コンパイル済みの実行ファイルのみを提供するという意味になる。

用語 065

パス

Unix

1. ファイルやディレクトリの位置を示す文字列で、ファイルパスとも呼ばれる。Unix/Linux

用語 066

ハッシュ値

パッケージ

ど」が設定されており、使いたいソフトを簡単にシステムに追加したり、削除することができるようにになっている。パッケージを生成するために必要なソースコードなどを収録した「ソースパッケージ」も提供されている。

用語 067



◆Nautilusのペンアイコンをクリックすると、フルパスで場所が表示される。

ではディレクトリごとにスラッシュ（/）で区切って指定する。rootディレクトリからの位置を指定する絶対パス（フルパス）と特定のディレクトリからの相対的な位置を指定する相対パスの2種類が存在する。例として、ファイル・ブラウザの左上にあるペンの形をしたアイコンをクリックすると、ディレクトリのフルパスが表示される。2. 実行ファイルが存在するディレクトリのファイルパスを列挙する環境変数「\$PATH」。コマンドを実行する場合は、この変数に指定されたディレクトリを順に見ていきながら、コマンド名に一致するファイルを探す。一般的なユーザがこれを変更することはあまりない。

用語 068

パッケージ

パッケージ

ソフトウェアをシステムにインストールするためのファイル。Ubuntuの場合、拡張子は「deb」となる。パッケージごとに依存関係（あるソフトウェアAを使うには別のソフトウェアBが必要、な

ハッシュ値

Ubuntu Desktop 日本語 Remix CDのダウンロード
Ubuntu 9.04 - 2010年10月までサポート
富士大学からダウンロード
• ubuntu-jp-9.04-desktop-386-20090510.iso (CDイメージ) (md5
ae067a7bc0c7288a5eca32c3b675e389)
• ubuntu-jp-9.04-desktop-386-20090510.iso torrent (Torrentファイル)
(md5sum: f85f106490e026171718e435207c72b5b)
株式会社アシストからダウンロード
• ubuntu-jp-9.04-desktop-386-20090510.iso (CDイメージ) (md5
ae067a7bc0c7288a5eca32c3b675e389)

◆ダウンロードしたファイルのMD5値は端末で「md5sum ファイル名」で調べられる。比較してみよう。

「改ざんするとランダムな別の値に変化する」「同じ値に調整することはほとんど不可能である」という特性があるため、意図的な改ざんがあれば全く違う値に変化するこれを利用して、たとえば「ダウンロードしたファイルが本物かどうか・壊れていないか」の判定に使うことができる。Ubuntuではハッシュ値とGPGを組み合わせてパッケージの改ざんチェックを行っている。

用語 065

パッドノウハウ

▼ コミュニティ

アプリを使ううえで、「複雑怪奇だが、覚えなないと使えないので仕方なく使う」タイプの知識やHOTOの総称。Eメールなどの操作や設定ファイルの書き方などが該当する。高林哲氏による造語(<http://0xcc.net/misc/back-knowledge.html>参照)。たいていのマニアはこれが大好きであるが、Ubuntu的にはできるだけ除去していくべきものである。

用語 066

パネル

▼ デザイン

パネルをカスタマイズ



■パネルを右クリックして「パネルへ追加」で、さまざまな機能をアイテムとして追加できる。

Ubuntuデスクトップの初期画面の上下に存在する、Windowsでいう「タスクバー」に似た灰色の帯状のインタフェース。各種アプリケーションや設定にアクセスするメニューのほか、Wind

用語 067

パーティション

▼ 操作

OSのタスクトレイふうの通知スペー、起動したアプリケーションの一覧を表示するスウィッチャなどが登録されている。パネルの位置や数なども自在にカスタマイズ可能で、パネルに登録するためのアプリレットも豊富に用意されている。

ハードディスク内の領域を目的に合わせて分割すること、もしくは分割した領域そのものを指す。既存のWindows PCにUbuntuをデュアルブート形式でインストールする際に立ち上がる3つの壁のひとつ。このような方法でデュアルブートにしたい場合、WindowsとUbuntuでは標準で採用しているファイルシステムが異なるため、Windowsとは別のパーティション(領域)にUbuntuをインストールする必要がある。一般的にWindows PCにはWindows向けのファイルシステムが設定されたパーティションしか用意されていないため、別のパーティションを用意するには既存のパーティションのうち使っていない部分を切り出して(分割して)、Ubuntu用のパーティションに設定する。Ubuntuインストール時は、この設定を極力マウス操作だけで行えるように作られている。なお、UbuntuのLiveCDから起動して、GPartedを使うことでもパーティションの設定を行える。

用語 068

ビルド

▼ Unix

ソフトウェアをコンパイルし、バイナリを生成することの総称。「makeする」「コンパイルする」の類義語だが、「ビルド」は「たくさん」のファイルをまとめてコンパイルするためのmake。「時間がかかる」というような、「大がかりなもの」というニュアンスがある。コンパイルとの違いは、「ビルドする」は複数のソースファイルで構成された大規模ソフトウェアのmake、「コンパイルする」はソースファイルが1個だけ、といった感じ。パッケージなどをソースからバイナリに変換することもビルドと呼ばれる。

パーティションの作成



■Ubuntuでは既存のOSを残して新しいパーティションをつくるのも、マウス操作でできるのだ。

用語 069

ファイル・ブラウザ

▼ 操作

Ubuntuにおいて、各種ディレクトリの中身を閲覧するためのシェル的一种。Windowsのエクスプローラに相当する。クリックでディレクトリをたどっていき、必要なファイルを見つけ出すのに使う。実は自身は「Nautilus」で、デスクトップの表示とは別のモードで起動している(実際にはデスクトップがファイル・ブラウザの特殊な表示モードと言える)。

用語 070

ファイルシステム

▼ Unix

HDDやUSBメモリ、CDなどにデータを保存するために使われる、「どうやってデータを記録するべきか」を定義したもの。これらのメディアにデータをそのまま置いてしまうと何がどこにあるのかわからなくなってしまうので、ある種の方眼や野線、仕切りを作って整理するためのものと思えばよい。ファイルシステムに従ってデータを記録していくことで、「どこに何が書いてあるのか」を明確にすることが可能。難しく書いてあるが、そういう「おまじない」があつて、流派がいろいろあるんだ、程度の理解でも支障はない。Ubuntuではext3とext4が主流でパーティション作成時に指定できる。

用語 071

フォーラム

▼ コミュニティ

掲示板やBBSの同義語。複数の参加者が、並行した話題について話し合うことができる、ウェブ上の場所のこと。Ubuntu関連のフォーラムでは、「分からないことを質問すれば、きっと親切な誰かが答えてくれます。でも、いずれあなたも、分からないことがある人に説明をしてもらえるとうれしいです」という理念で運営されていることが多い。……こんな説明を読むより、<https://forum.ubuntu.jp/>を開いてもらつたほうが早いと思われる。

用語 072

ブックマーク

▼ 操作

直訳すれば「しおり」。主にウェブブラウザなどで、特定の場所のアドレスを覚えさせておくことを、本のしおりにならつてこう呼ぶ。Windowsなら「Internet Explorer」の「お気に入り」と同等のもの。ウェブブラウザだけでなく、Ubuntuのファイル・ブラウザでは、自分のPCのフォルダやネットワーク上にあるほかのPCなどの「場所」もブックマークすることができ、ブックマークを追加するとGnomeパネルやファイル・ブラウザの「場所」メニューから素早くアクセスすることが可能になる。

不要パッケージの管理

用語 073

操作

正式名「Computer Janitor」。「リポジトリから取得できないパッケージ」を検出・削除するツール。これによって、「アップデイトが提供されなくなったパッケージ」を除去し、「セキュリティ的に問題があるのだが、リポジトリに存在しないのでアップデイトが行われない」という事態を防ぐことができる。のだが、うかつにこれを使うと「ATOK X3」まで削除されたりする諸刃の剣。なぜATOKが削除されるかというと、ATOKはCDや個別ダウンロードでインストールするもので、リポジトリには存在しないからである。

フラグ

用語 074

操作

プログラミングの条件判定で、真となった場合に立てるビットや変数のこと。多くは変数に1を格納し(通常はゼロ)、後で行う条件判定に利用する。たとえば、誰かが「オレ、この戦いが終わったら(略)」と発言した場合を例にすると、この発言の裏では死亡フラグ変数に1が代入されている。のちほど戦場で死亡判定が行われる際に、「死亡フラグ変数に1が入っているから、故郷に彼女を残したままあえなく死亡する」というわけである。

フリー

用語 075

操作

自由ないし無料のこと。英語圏では、「Free as in free beer」(無料ビールのように無料)ないし「Free as in free speech」(言論の自由のように自由)と、違いを明言しなくてはならないが、日本語では「自由」「無料」と適切な言葉があるので区別しやすい。

フリースoftware

用語 076

Unix

リチャード・M・ストールマンが主張している、ソースコードの入手・改変・再配布が自由に行えるソフトウェアのこと。リチャードは「Free Software」の訳を「自由なソフトウェア」にしてほしいと主張しているが、あまり一般的にはなっていない。フリースoftwareはAll GPLばかりではなく、フリースoftwareのライセンスでGPLと矛盾するものとしなものも区別している。値段をつけるのも自由だが、商用利用に向かない点もあるため、より許容範囲を広げたオープンソース・ソフトウェアが登場した。

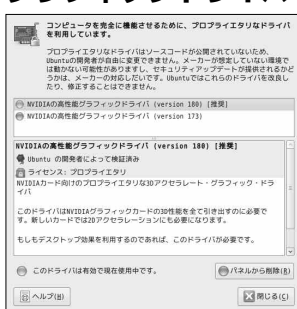
プロセス

用語 077

Unix

実行ファイルは、開始と同時に「本体」がメモリ上に配置される。これをプロセスと呼ぶ。カーネルはこれらのプロセスにPIDという番号をふり、状態を確認・変更しながら順番に実行していく。実行中のプロセスは、「システム」、「システム管理」、「システム・モニタ」の「プロセス」タブで見られる。もし「ゾンビ」と表示され、高負荷をかけているなら、必要に応じて強制終了させる必要がある。「ゾンビ」は「正しく終了されていないプロセス」である。

グラフィックドライバ



プロプライエタリ

用語 078

パッケージ

「配布・改変などに何らかの制限があるソフトウェア」。要するに、「フリースoftwareではないソフトウェア」。文脈によって若干意味が変動し、「非フリースoftware」から、単に「商用ソフトウェア」特に有償で利用できるソフトウェア」まで、やや曖昧に使われる。プロプライエタリ (proprietary)

フロントエンド

用語 079

Unix

コンソールプログラムを操作するためのGUIのこと。コンソールプログラムの多くはオプションを暗記したり、複雑な引数を入力しないと利用できないため、そのままでは扱いにくい。こうしたものにGUIの「ガワ」を付けることで、ユーザーにとって操作しやすくなるもの。たとえば「Clamtk」や「KlamAV」アンチウイルスソフトの「ClamAV」のフロントエンドである。この場合、裏方にあたるコンソールプログラムは「バックエンド」と呼ばれる。

プロンプト

用語 080

操作

ターミナルやコンソール上で、「コマンド入力を受け付けているよ、入力どうぞ」という意図で表示される文字。一般ユーザーは「\$」か「%」、管理者 (root) は「#」が使われることがほとんど。この文字に続いてコマンドを入力するのがシェル操作の基本。bashなどの高機能なシェルでは、プ

ロンプトの文字もカスタマイズができる。

ブートローダ

用語 081

Unix

コンピュータのメモリ上にOSをロードするためのプログラムのこと。PCは電源が投入されるとBIOSを読み込み、そこからHDDの先頭に格納されたブートローダを呼び出す。その後ブートローダがOS本体を読み込み、起動が行われる。最近のLinuxディストリビューションでは主に「GRUB」が利用されている。他には「LILO」(古めのLinuxディストリビューション)、「NTLDR」(Windows XP)、「Bootmgr」(Vista) などの種類がある。

ホームディレクトリ

用語 082

Unix

ユーザーごとに用意された、そのユーザーが自由にアクセスできるディレクトリのこと (/home/ユーザー名)。個人的なデータや、各種アプリケーションの設定ファイルなどはここに保管される。逆に一般のユーザー権限では、自身のホームディレクトリ以外にデータを書き込むことはできない。ちなみに、端末で「cd」と入力すると、ユーザーのホームディレクトリに簡単に戻れる。

用語 083

マウント

Unix

CD-ROMドライブやHDDなどのデバイスを、システムからアクセスできる状態にすること。この手のデバイスはマウントしないとシステムからアクセスできない。が、起動ディスクやCD-ROMなどはシステムがこっそり自動的にマウントしてくれるため、ユーザーが意識しないうちに使える状態にしてくれているのである。この逆がアンマウント。

用語 084

マウントポイント

Unix

ドライブ単位でファイルを管理するWindowsと違い、Unixでは「/」(ルート)を頂点とする唯一のディレクトリツリーでファイルを管理する。そのためCD-ROMやUSBメモリを使用する際には、このディレクトリツリーのどこかにマウントを行う必要がある。マウントを行うディレクトリツリー上の任意の位置をマウントポイントと言う。Linuxをインストールする場合は必ず、「/」(ルート)をマウントポイントとして指定されたパーティションが存在しなければならぬ。Linuxの動作中にUSBメモリなどを追加でマウントする場合は、通常「/media」以下のディレクトリをマウントポイントとして使用する。

用語 085

マーク・シャトルワース

人名

Ubuntuの創始者。「SABDFL」(自称・情け深い永世独裁者。要するに「君臨すれども統治せず」とも。職業・大金持ちと噂されるIT業界の富豪のひとり。SSL証明書を主要なビジネスにする企業、Thawte(業界2位)を作り、それをベリサイン(業界1位)に売り払うことで莫大な財を築いたとされる。Ubuntuは彼の財産の一部によって始められ、カノニカル社の最高責任者も彼である。本人もエンジニアで、きわめて厳しい選抜を受ける必要があるDebian Developerでもある。

マウントポイント



パーティションを手動作成する場合はマウントポイントに「/」(ルート)を指定する必要があります。

用語 086

メガバイト、ギガバイト

知識

メガは10の6乗を表す場合と2の20乗を表す場合があり、「1メガバイト」と表記した場合、1,000,000バイトなのか1,048,576バ

用語 087

メンテナ

コミュニティ

一般的には「管理する人」。Ubuntuでは「パッケージ・メンテナ」の省略形として扱われ、パッケージを作成・管理する人を示す。無数のメンテナが集まることでUbuntuやDebianの開発が行われている。

用語 088

ユーザ

知識

コンピュータを利用するための

メガバイトじゃない



ちなみにAnthyで「めびばいと」と入力すると、きちんと「MiB」という単位に変換される。誤植ではない。

イトなのかはつきりしないという問題があった。そこで2の20乗を表すためにメビという二進接頭語が使用されるようになったものがメガバイトである。「1メガバイト」と表記された場合は1,048,576バイトである。ギビも同様に2の30乗として扱われる。8・10以前のUbuntuのインストーラではメビバイト・ギビバイトでHDDの容量を表記していた。メガバイト・ギガバイトの誤植ではない。

用語 089

ライセンス

コミュニティ

利用許諾。ソースコードあるいはバイナリはこのように使わなくてはならないというルール。実はソースコードとバイナリは、適用するルールについて違う考え方を有する。ソースコードには著作権が発生するのでこれを元とするが、バイナリには著作権が発生しないため、契約という形式をとる。もちろん、ソースコードとバイナリで同じライセンスにしてもいい。その辺も紛らわしい。

ユーザの権限を設定



「[システム管理] - [ユーザとグループ]」で「[ロックの解除]」をし、プロパティの「ユーザの権限」で設定。

アカウントの単位。Unix/Linuxの世界では、利用者個人ごと、または役割ごとに個別のユーザが作成され、ユーザごとに与えられる権限がコントロールされている。例えば一般ユーザには、システム全体に影響を与えるようなディレクトリへの書き込み権限は与えられていない。またユーザはコンピュータを操作する人間だけに作成されるものとは限らず、特定のデーモンを起動するためのユーザ(人間がログインなどはしない)なども存在する。

用語 090

インストー

知識

ブートメディアとして使うことで、OSを起動できるCDのこと。OSインストーラを行うCDなどに対して、ライブCDではフル機能のOSを利用できることが多い。最近のPCではほとんどCDからブートできるため、対応する環境は多いものの、データの保存ができないのが欠点。「HDDを使わず、そのメディアのみで完結する」ものをライブ○○と呼ぶが、そのきっかけがライブCD。Knoppixや、日本語Remix CDも含めたUbuntuのデスクトップCDなどが代表的。Ubuntu Desktop CDはライブCDであると同時にインストールCDでもある。インストーラ前に動作しないハードウェアがあるかライブCDを使って確認したり、起動しないPCからデータを救出できたりする。

UbuntuもライブCD



Ubuntu Desktop CDで起動、動作環境を確認できたデスクトップの「インストー」からインストーラを開始!

用語 091

ライブUSB

知識

OSを起動できるUSBメモリ。厳密には「ライブUSBメモリ」と呼ぶべきだが「ライブUSB」と呼ばれることが多い不慣れた子。ライブCDと違い、ブートできるPCが05年以降のものがほとんどなのが弱点。データを保存するよう設定しておくことで、作成したデータを保存できるのがメリット。Ubuntu 9.04からは「システム」・「システム管理」・「USBスタートアップ・ディスクの作成」から作成できる。

用語 092

リカバリモード

操作

Ubuntuの起動時に「ESC」キーを押していると選択できる。「設定を壊してしまい、うまく動作しない状態になった」場合の起動モード。Windowsのセーフモードに相当する。このモードでは、壊れたパッケージ環境の修復、rootシエルの取得（伝統的Unixのシングルユーザーモード相当）、「xor.conf」の設定の再生成ができるようになっている。が、デフォルトの選択肢は「通常モードでブートする」になっているあたりがちよつと罠。リカバリするつもりで通常起動してしまう事故がまれに発生する。この場合はおとなしく再起動してやりなおし。

用語 093

リノフオント

デザイン

MSゴシック・MS明朝などの元となったフォント。MSゴシックやMS明朝と同じ字形なので、Windowsアプリで作成した文書をUbuntuで見ると場合など、見た目の互換性を追求する場合に便利。ちなみに、厳密にはリコーがリコービから供給を受けたものをベースに調整したもので、すべてリコーで開発されたものではない。ちなみに、「StarSuite」などを購入することも利用できる。

用語 094

リソース

知識

ソフトウェアが動作するために必要な「資源」のこと。「資源」というよりは「燃料」だと思つてわかりやすい。メモリ容量や残スワップ・CPUパワー、ネットワーク帯域などをまとめて示す単語。不足している状態を「リソースが枯渇している」などと表現する。

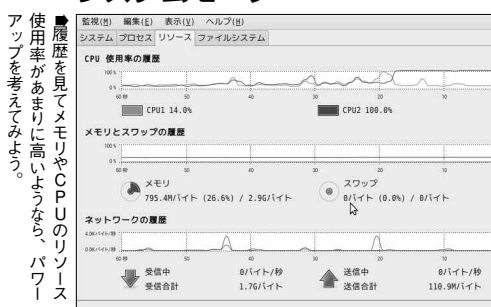
スタースイート9 (5台用)

●ソースネクスト
●4980円



Windows、Mac、Linuxで使えるオフィススイート。ひとり5台まで使えるライセンスうれしい。

システムモニタ



当然、負荷が高い状態なので動作は快適ではない。この状態は「システム」・「システム管理」・「システム・モニタ」の「リソース」タブで確認できる。

用語 095

リポジトリ

知識

パッケージ置場のこと。Ubuntuでmain・restricted・universe・multiverseの4つのコンポーネントに分けられている。アーカイブサーバに実体があり、各種ファイルが準備されている。リポジトリを追加すれば、インストーラでできるソフトは増えるが、セキュリティの面からも信頼できるものしか追加しないことが重要。なお、リポジトリにはもともと「貯蔵庫」という意味があるため、ソフトウェア開発の場合、「ソースコードを置いてある場所」をリポジトリと呼ぶこともある。

用語 096

リリースノート

プロダクト

ソフトウェアの公開（リリース）時に、あわせて公開されるドキュメントのこと。Ubuntuの場合も新しいバージョンが公開されるたびにリリースノートが作成され、日本語訳も作成される。「英語版の完成バージョンができてから、リリースアナウンスまでの時間が数分」ということも多く、翻訳している人たちは毎回涙目である。このリリースノートにはアップデート時の注意や既知のバグ、新機能などが書かれている。インストーラ前に必ず目を通すようにしよう。



用語 097

リンク

知識

コンピュータ上のファイルやディレクトリに対して、「案内板」を複数用意し、それぞれの「案内板」から同じ場所へたどり着けるようにすること。リンクには「ハードリンク」と「シンボリックリンク」の2種類がある。シンボリックリンクは一種のワープゾーンのようなもので、「このファイルの中身は、〇〇ってファイルと同じだよ」という目印を設置しておき、その指示先を見に行く、というもの。これに対して、ハードリンクは「inode」と呼ばれる、「データの存在する場所のアドレス」を直接指定する形である。イメージとしては「扉が2つある家」で、どちらの扉から同じ中身にアクセスできるようにする。

ハードウェアリンクは特性上、ファイルシステムやネットワークをまたぐことはできず、さらにファイルの編集で「アドレス(inode)」が変化する可能性があるため、意図せずリンクが切れてしまうことがあるため注意が必要。普通のユーザーはシンボリックリンクを使えばよい。

用語 098

ループバック (デバイス)

知識

ISOイメージやファイルシステムイメージを、まるで実際のデ

用語 099

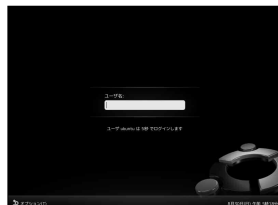
ログイン・ログアウト

操作

バイスであるかのようにマウントすること。たとえば、ISOイメージを「/media/cdrom」にループバックマウントすると、イメージファイルの中身を「/media/cdrom」内で閲覧できるようになる。ループバックデバイスをマウントする場合、「mount -o loop」として「loop」オプションを明示的に指定する必要がある。

コンピュータの利用開始時に行われる、ユーザー名とパスワードを利用した認証がログイン。そしてコンピュータの利用を終了し、ログイン前の状態に戻ることをログアウトという。ログイン手続きによりユーザーが正しく認証されてはじめて、ユーザーはコンピュータを利用することが可能。この認証をパスしないとコンピュータを操作することはできないため、不正なユーザーが勝手にコンピュータを使用することを防止できる。またsshなどを経由してログインする場合は、パスワードの代わりに公開鍵を利用することもできる。

ログイン画面



ユーザー名、パスワードを入力する画面。アプリケーションのインストール後、ログイン・ログアウトすることも多い。

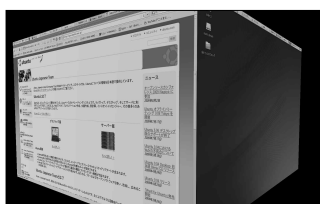
用語 100

ワークスペース

操作

訳せば作業領域。ディスプレイ画面に表示されているデスクトップ全体を、ひとつのワークスペースと数える。GNOMEなどのデスクトップ環境は複数のワークスペースを持っており、任意に切り替えることで仮想的に大きな画面を使用して作業ができるようになっている。標準の設定では、「Ctrl」+「Alt」+「↑」「↓」キーか、パネルにある「ワークスペース切り替え器」で切り替えられる。3Dデスクトップのデモでよく見かけるデスクトップキューブは、4つのワークスペースを切り替えている。

デスクトップキューブ



CompizFusionの3D効果のひとつ、デスクトップキューブは、ワークスペースを切り替えるときの効果。

用語 101

ディレクトリ (ディレクトリ)

Unix

「」は「カレントディレクトリ」、「」は「カレントディレクトリから、一段上のディレクトリ」を意味する文字列。「cd」(一段上のディ

用語 102

alien

パッケージ

レクトリに移動) などといった形で使われる。Unixのファイルシステム表記において、初心者戸惑わせる壁のひとつである。が、実はWindowsやDOSでも使われているので、あまり「Unix独自の文化」といぢめないであげてほしい。

rpmパッケージをdebファイルに変換して、Ubuntuで利用できるようにするためのコマンド。しかしあくまでもファイル形式の変換ができるだけであり、変換後のdebファイルをインストールしても、プログラムが正常に動作するとは限らない。うまく動作しないパッケージも当然あるので、過信は禁物。

用語 103

Alternate CD

プロダクト

UbuntuのインストールCDの一種。テキストベースの疑似GUIで操作する、上級者向けのインストール。ソフトウェアRAIDやディスクの暗号化など、複雑な機能をインストール時に設定することが可能。最終的にインストールされる環境はDesktop CDと同等。ライブCDとしての機能をもたないが、代わりに、メモリが少ない、ライブCDとして起動

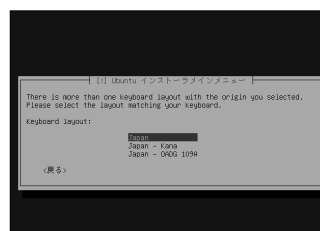
用語 104

AMD64

知識

i386をベースに拡張を加え、64bit命令コードに対応させたものの総称。x64とも呼ばれる。名前のとおり、AMDが提唱した規格。現在の一般的な「64bit環境」はすべてこれで、Ubuntuでもi386版とAMD64版がそれぞれ別個にリリースされている。インテルでは「Intel 64 (旧名称EMT)」という名前になっているが、両者は同じもの。Ubuntuなどの「AMD64版」は、ほとんどのインテル製CPU、一部のVIA製CPUなどでも利用可能である。一般的なデスクトップ用途であれば、対応ドライバやソフトもi386版より少ないため、AMD64版を使うメリットはあまりない。

テキストベースのガイド



インストールはテキストの指示に従って進める。画面が寂しいというだけで、難易度はそんなに高くない。

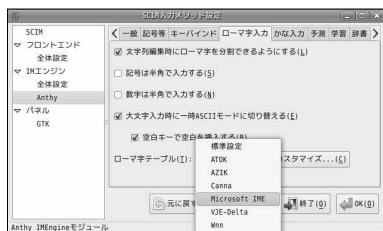
用語 105

Anthony

▼ プロダクト

Ubuntuをはじめ、最近のLinuxディストリビューションで標準的に利用されている、フリーの日本語変換エンジン。残念ながら主要開発者による開発は終了してしまっただが、『kinput2』に『Canna』という組み合わせが常識であったUnix、Linuxの日本語入力環境を一変させたAnthonyは、まさに「世界を革命する力」（『少女革命ウテナ』）であった。

SCIM-Anthy



辞書管理ツールの「霞（Kasumi）」も使いこなせば、ひと通りの入力はAnthonyで大丈夫。

用語 106

Aport

▼ 知識

「ソフトウェアがクラッシュしたときに自動的に起動し、その原因を分析する」ためのソフトウェア。「クラッシュレポート」の一種。Windowsで言えば「マイクログフトへ報告しますか?」ダイアロ

用語 108

apturl

▼ パッケージ

aptプロトコルのURLをaptコマンドに変換してパッケージをインストールするコマンドラインツール。Ubuntuの初期状態ではFirefoxのプロトコルハンドラも設定されており、「apt://」で始まるリンクをFirefox上でクリックすると、パッケージのインストールが可能になる。Ubuntuのヘルプシステムやhttp://help.ubuntu.com/では、これを用いてユーザーに必要なパッケージのインストールを促している。PPA越しのインストールも可能。

ブラウザからインストール



「apt://ソフト名」をブラウザのアドレスバーに入力するだけで、ソフトをインストール。

用語 109

ARM

▼ 知識

CPUの一種。ARM社が特許を持つ命令セットの総称。ARM社はCPUを多くの会社ライセンスするため、さまざまなメーカーがARM CPUを生産している。Ubuntu 9.10からAR

用語 111

bash

▼ Unix

GNU/Linux環境の標準シェル。名前の由来は「Bourne again Shell」（生まれ変わったBourne Shell）というシャレである。コマンドヒストリやTab補完をサポートする高機能なシェルであり、Mac OS Xでも標準採用されている。UbuntuでXを起動せずにコンソールでログインした場合や、端末アプリケーションを立ち上げた際に、その中で動いているシェルがこれである。

用語 112

BIOS

▼ 知識

「起動時のハードウェアの制御を行うための、システム（マザーボード）に内蔵されたファームウェアの一種。PCの電源を入れるとまず初めに表示される、メーカーロゴや黒一色の画面の正体。ここからブート用のHDD、USBメモリ、CDなどにアクセスし、OSがハードウェアを制御する状態に移行する。ライブUSBを起動するとき、起動ディスクの優先順位を入れ替えたりするのもこのBIOSで行える。将来的には「EFI」というものに置き換えられる予定で、Macや一部の先進的なメーカー製PCではすでにEFIが採用され始めている。

シャープ『NetWalker』



ARM向けUbuntu搭載、Freescallのi.MX515チップ（800MHz）を採用、10時間駆動。

用語 110

ATOK

▼ プロダクト

「エイトック」と読む。ジャストシステムが販売するかな漢字変換ソフト。変換精度の高さに定評があり、Windows、Mac、Linuxと、プラットフォームを問わずファンが多い。現行のLinux向けバージョンは「ATOK X3 for Linux」と呼ばれる製品で、Ubuntu 7.10以降の日本語Remixに正式対応している。なお、「ATOK」は「Advanced Technology Of Kanakani transfer」の略語であり、「阿波徳島かな漢字変換（Awa Tokushima Kana-Kanji henkan）」の略ではないので念のため。余談ながら、この原稿もATOKで書かれている。

Ubuntuがズバツとわかる! 基本用語256

用語 113

BitTorrent

知識

P2Pを使ったファイル共有プロトコルの一種。拡張子「.torrent」のトレントファイルを取得し、トラッカーからピアに接続して目的のファイルをダウンロード/アップロードする。Ubuntuには「Transmission」というBitTorrentクライアントがインストールされており、リリース直後のCDイメージのダウンロードなどによく使われる。サーバの負荷が分散されるため、多くの人が一斉にダウンロードしようとしているときは高速でダウンロードできるうえに、ファイルが壊れていないか確認してくれるので便利。

用語 115

Brasero ディスク作成ツール

アプリケーション

Ubuntu 8.04から標準になったCD/DVD書き込みソフトウェアCD/DVDの書き込みだけでなく、オーディオ・ビデオCD/DVDの作成、CD/DVDのコピーといった機能も備えている。書き込みたいファイルをドラッグ&ドロップやコピー&ペーストなどを使って移動すればいいだけの、非常に簡単な操作でCD/DVDを作成できる。

用語 116

bug

知識

バグ。ソフトウェアにおける「本来想定されていない、問題のある動作」のこと。Ubuntuでは世間で使われる意味と異なり、「何らかの問題」や機能の要望なども表すことになっている。LaunchpadでのUbuntuのバグ番号1番「マイクログソフトのシェアが高すぎる」(バグ報告者:マーク・シャトルワース)の他にも、「切り取りを選択したデスクトップ上のアイコンが半透明にならない」「○○というソフトウェアがない(のでパッケージ作って)」なんでもものも。バグの重要度に応じて、虫さん(「バグ」のアイコンの色が変わる。重要度が高い順に、「!」マーク付きの赤→赤→オレンジ→黄色→青)となる。

用語 117

busybox (ビジーボックス)

Unix

起動に失敗したときに遭遇する黒画面の正体。画面に「busybox」と表示される状態。これが表示されるということは、Linuxの起動プロセスにおいて行われる「起動の時にだけ使うルートファイルシステム (initrd) でハードウェアを初期化し、ちゃんと起動してから使うルートファイルシステムをマウントする」という処理が失敗したことを意味する。本来のルートファイルシステムが使えないので、initrdに含まれている特殊なコマンドセット「busybox」をシェルとして起動して、トラブルシューティングを行うための最低限の環境を提供するようになっているのである。が、たいていはそのままリセットされ、「なにか黒い画面になりました。busyboxとか出てました」と言われる可哀想な子。

用語 118

byobu

アプリケーション

Ubuntuの開発者のひとりで作成した、「GNU Screen」というターミナル・コンソール拡張ソフトウェアの設定ユーティリティの名称。日本語の「屏風」を由来としている。「GNU Screen」はターミナルやコンソールを使うユーザーの必須アイテムだったのだが、

便利情報を下部に表示



■端末で「byobu」と入力。アップデート状況やリソースの状態が表示されるようになる。

「byobu」はそこに「アップグレードパッケージの有無」「無線LANの状態」などのインジケータを追加したものである。旧称は「screen-profile」。ターミナルをひんぱんに使うユーザーにとっては非常に便利である。

用語 119

Canonical Ltd. (カニカル社)

IT/IT/IT/IT

Ubuntuを支えるために、マーク・シャトルワースが設立した企業。Ubuntuのサポートやトレーニングプログラムを有償で実施して収益化しつつ、開発者やコミュニティリーダーをUbuntuプロジェクトに送り込むことで開発を促進している。カニカルと読む。Ubuntuに関連する各種ソフトウェア「Bazaar」、「Launchpad」、「Landstart」、「Launchpad」、「Landstart」などの開発やサポートも行っている。メインオフィスはロンドンに構えているものの、2000人を超える従業員は世界中に散らばり、自宅で作業を行っている人も多い。世界規模の引きこもり集団と言えなくもない。自宅作業であ

用語 120

Code of Conduct (CoC)

IT/IT/IT/IT

とても「この時間は起きている」とか書いてあるので、アジア圏から勤務しようとするとき差の問題で引きこもりの上位職、「昼夜逆転引きこもり」にならねない。

CoCを読んでおこう!



<http://www.ubuntu.com/community/conduct>
<http://www.ubuntulinux.jp/community/conduct>

用語 122

Councils

C/C++/Python

CCSM



■UbuntuにはCompizはすでに入っているので、設定マネージャを導入すれば手軽にさまざまな効果が楽しめる。

3Dデスクトップ（あるいはデスクトップ効果）を実現するためのソフトウェア。ウィンドウが半透明になったり、折りたたまれたり、果ては炎をあげながら消滅したり、といったことが可能。WindowsビスタのAeroグラス、Mac OS Xのエクスポゼに相当するものの……のだが、あちらは機能としての名前とソフトウェアとしての名前が同じ、Compizはあくまでソフトウェア名で、機能としては「デスクトップ効果」というあたり、厳密な位置づけは若干異なる。「compizconfig-settingss-manager」を導入すれば挙動をカスタマイズできるの他のOSにはないウリ。凝り出すと時間泥棒になるもののひとつ。

用語 121

Compiz Fusion

デザイン

評議員、あるいは評議会。合議によって方向性を定める集団。Ubuntuでは「Community Council」（コミュニティ評議会）が存在する。こちらはTechnical Boardに対して、コミュニティとしての方向性や採りごとの裁定を行う組織。

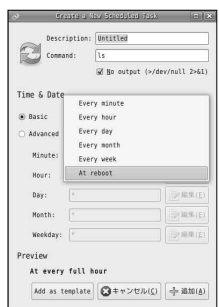
用語 123

cron

Unix

Unixで「定期的に何かを実行する」ためのプログラム。たとえば「毎週月曜日、9時ちょうどに『サボらず会社に行け！』という件名のメールを出す」「毎日19時になったら『19時だから終業なう』とTwitterにつぶやく」といったことが可能。「cronab」を実行して「cronab」という設定ファイルを書くことでユーザごとに設定することも。「/etc/cron.d/」以下にシステム設定として設置することもできる。Cronと大別して呼ばれているが、これは「エディタ」というようなジャンルを表す単語で、さまざまなCronが存在する。Ubuntuでは「Anacron」。バックアップソフトのスケジュール実行などはこれが使われている。

時間を決めて実行



■気軽にCronを設定するなら「追加と削除」から追加できる「scheduled task」で。日時や繰り返し設定も可能。

用語 124

CUPS

知識

現在はアップルに買収された Easy Software Products (ESP) 社が開発した、Ubuntuを含むLinuxディストリビューションやMacに採用されている印刷システム。アプリケーションから受け取ったPostScript形式の印刷情報を適切に処理し、プリンタに渡す。通常はバックエンドにGhostScriptやプリンタドライバ（フィルタ）を使用する。以前はLPRという印刷システムが使われていたが、現在はほぼCUPSに置き換えられた。CUPS自身がLPRのように振る舞うことができるなど非常に高度な機能を持つ。

用語 125

deb

パッケージ

DebianやUbuntuなどのパッケージ管理システムdpkgで使用するパッケージ形式のこと。通常はdebパッケージと呼ばれる。「ar」というアーカイバで圧縮されており、展開すると「control.gz」と「data.tar.gz」の2つが取り出せる。

前者にはアーキテクチャなどインストールやその前に必要な情報が含まれており、後者はバイナリファイルが含まれている。Red HatやOpenSUSEでは、rpmを採用している。

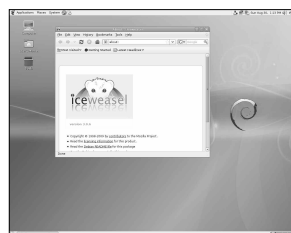
用語 126

Debian GNU/Linux

C/C++/Python

フリーなオペレーティングシステムを作ろうとするDebianプロジェクトの代表的な成果物のひとつ。カーネルにLinux、ユーザ空間にGNUのツールを採用していることからこう呼ばれる。Ubuntuの派生元。母体となる企業を持たず、ボランティアによって作成されているOSである。

Lenny LiveCD



■ライブCDが用意されているので、DebianもUbuntu同様気軽に試せるのだ。Ubuntuの母だけあってよく似ている。

用語 127

Desktop CD

プロダクト

UbuntuのインストールCDの一種。ハードディスクへUbuntuをインストールすることはもちろん、ライブCDとしての機能も持ち、インストール後の初期状態とほぼ同等のUbuntuを体験することが可能。そのうえ、メモリテスト機能や、Windowsで利用しているHDDを読み込む機能なども備えている。インストールを終えても、いざというときの備えとして持っておきたい。

用語 128

DFSG

C/C++/Python

「Debian FreeSoftware Guideline」の略。これに合致したライセンスがDebianでいうところのフリーなライセンスとなる。OSD (Open Source Definition) の略で、これに合致したものがオープンソース・ライセンスとなる（のベースになり、オープンソースという概念ができたのだが、DFSGに合致したものがOSDに即したものと比べるとは限らず、またその逆も真であり、時に議論の種となる。これらの議論は法的問題や慣習法などを踏まえた高度なものなのだが、あまりに高度すぎて外野から見ると宗教戦争にしか見えないのがネック。

用語 129

Edubuntu

プロダクト

Ubuntuの教育向け派生版。あくまで「教育向け」であり「子ども向け」ではないので、児童向けお絵かきアプリに始まり、本格CADアプリケーション、果ては教員向けの学校行事スケジュールまで、学校で使いそうなもの一式が含まれる。

通常の派生版とは異なり、追加ディスクという形で提供されるのもポイント。Ubuntuをインストールした後にEdubuntuをインストールして使用することになる。

Ubuntuがズバツとわかる! 基本用語256

用語 130

Emacs

知識

テキストエディタの一種。Viユーザーとの宗教戦争でおなじみ「Emacs Lisp」というプログラミング言語を内蔵し、自身の機能を拡張することができる。Unixプログラマを中心とした変態、じやなかった技術者に人気。メール、ウェブブラウザ、チャットなどが動作するため、すべての作業をEmacs上で完結させようとする人が後を絶たない。パッドノウハウ満載で、使いこなすのが困難なのが欠点。何も知らずに触ると、「vi」と同じく「終了の仕方が(略)」という悲劇が待っている。終了操作は「Ctrl」+「x」を押してから「Ctrl」+「c」である。

用語 131

etho/wlano

知識

Linux環境において、「ネットワークデバイス」を意味する単語。「eth*」が有線のネットワーク、「wlan*」が無線のデバイスを示す……という一定の法則はあるのだが、実はドライバやディストリビューション次第なので、「eth1」と出ているが実は無線LANなどということもある。初心者にとつての謎の単語シリーズのひとつ。読み方は「えすぜろ」(もしくは「いーさぜろ」)、あるいは「だぶらんぜろ」などである。

無線LANの接続情報



■「接続情報」で状態がわかる。端末で「ifconfig」と入力してもネットワーク環境の確認ができる。

用語 132

Evolution

アプリケーション

Ubuntuの標準メール。通常のPOP3/IMAP4対応のメールとしてだけでなく、「Microsoft Exchange」とも接続できる機能を持っている。非常に高機能なソフトウェアではあるが、日本語環境で使用するメールのサブジェクトや添付ファイル名が文字化けすることがあるという問題も抱えている。そのため「Thunderbird」や「Sylphie」を別途インストールして使うというユーザも多いようだ。UNIXなどでも「Thunderbird」が入っていて、わりと不遇。

用語 133

ext3

知識

Linuxで使われるファイルシステムのひとつ。古くから使われているため、非常に安定している。ジャーナリングなどのひとつおりの機能を備えているが、設計が古いため32ビット環境で8TBまで、

64ビット環境で16TBまでの領域しか扱えない。また、fsck(ファイルシステムの検査)に大変な時間がかかるという弱点を持っている。Linux関係者の多くが「ext3を過去のものにするために新しいファイルシステムを!」という野望を持っているが、まだ完全に置き換えるには至っていない。ちなみに、ファイルシステムを作成するためには超・膨大な知識とプログラミング能力が必要で、ゼロから設計して使えるものには、せいぜい世界中で100人とか1000人とかのレベルである。

扱えるファイルシステム



■Ubuntuのインストーラで選べるファイルシステム。Ubuntuではext3が今のところ標準だ。

用語 134

ext4

知識

ext3の後継となる、Linuxで使われるファイルシステムの一種。ext3の反省点を生かしつつ、安定性を維持したまま高機能・高性能・大容量の領域を扱う機能を持たせたもの。Ubuntuでは9.04から利用可能、9.10でデフォルトになる予定。9.04リリース直後は大量のバグが発見

用語 135

F-Spotフォトマネージャ

アプリケーション

Ubuntuに標準インストールされている、写真管理アプリケーション。デジタルカメラをPCに接続すると、このアプリケーションが起動し写真を取り込んでくれる。タグやメタデータを使った写真の整理のほか、切り取り・回転・赤目除去などの簡易編集機能、オンラインアルバムへのアップロードといった機能がある。JPEGやPNGのような一般的な画像フォーマットの他、カメラメーカー独自のRAWファイルにも対応し、UFRAWや拡張機能をインストールすることでRAW編集もできるようにする。

用語 136

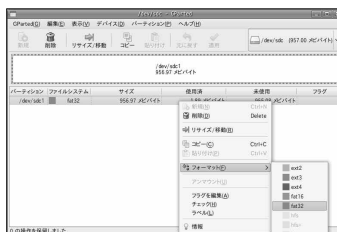
FAT16/32

知識

マイクロソフトが開発したファイルフォーマットで、FATはFile Allocation Tableの略。それに続く数字はクラスタ識別子を指すが、わかりにくいので数字が多いほう

され関係者一同を冷や冷やさせたが、ext4のメイン開発者数名がLaunchpadに降臨し、かたつばしからバグを直すという大技により沈黙させた。Fedora、RHEL方面でも標準ファイルシステムとなりそうなので、ext3を置き換えることに成功しそうである。

パーティション・エディタ



■SDカードやUSBメモリーはパーティション・エディタでフォーマット。FAT32なら間違いない。

用語 137

fdiファイル

知識

Xの各機能のオプション指定を行うためのファイル。ここで記述した内容はhail経由でXに通知され、「xorg.conf」を直接修正した場合と同様の反映が行われる(というか、「xorg.conf」に直接書いたものは無視され、hailから指定されるものだけが有効になる)。キーボードやマウスのオプションは「xorg.conf」で指定しないほうがよい。

Fedora

プロダクト

Red Hatとコミュニティが中心にリリースしているLinuxディストリビューションのひとつ。旧Red Hat Linuxをベースに、RHELと分離したもの。先進的な機能を取り込み、RHELのテスト版・兼・技術評価を目的としてリリースされている実験的ディストリビューション。先進的な機能の導入（と、それゆえの動作の不安定さ）に定評がある。Ubuntuの最大のライバル……かも。

Fedora



■現在のバージョンは6月にリリースされた11。ファイルシステムはデフォルトでext4といちはやく導入。

File Roller (書庫マネージャ)

アプリケーション

tarballやZIPといった圧縮ファイル・アーカイブの作成・展開・解凍・閲覧をGUIから行えるツール。ただしあくまでGUIが用意されているだけであり、各種アーカイブ形式に対応するにはそれぞれの形式に対応したコマンドラインツールが必要にな

る。Ubuntuではメニューから消されていて、ファイル・ブラウザ経由でファイルを右クリックして圧縮・展開を行う、黒子的な扱いになっている。

Firefox

アプリケーション

Mozilla Foundationが主体となつて開発し、名称とロゴの商標を所有しているウェブブラウザ。Windowsやほかのプラットフォームでもユーザが多い。ソースコードはGPL/LGPL/MPLのトリプルライセンスだが、「Firefox」と名乗るためには守らなければならないポリシーがあるため、ソースコードはFirefoxでもLinuxディストリビューションではFirefoxと名乗っていないことも多い。その辺のゴタゴタや名称そのものに関する歴史などゴシップネタが多いので、ヒマがあれば調べてみると面白いだろう。

Foundation

財団/財団

いるのだから、オープンソースソフトウェアでいいじゃんとは言っ

1. 一般的には「財団」を表す単語 (Ubuntu Foundation)、「Ubuntu財団」など。

2. Ubuntuでは「Foundation Team」というカーネルやライブラリ・インストラなどのきわめて重要な機能を開発するチームが存在するため、開発チームを指す単語としても使われる。「それはFoundationに任せる」などという言いかたをすることもある。

fstab

Unix

Unixにおいて、「どのデバイスをとどのマウントポイントにマウントするか、そしてどのタイミングでマウントするか」を記述した設定ファイル。古典的Unixから引き継がれてきているため、設定ファイルの書き方はコンピュータさんにとって都合がよく、人間にとっては意味不明なものとなっている。最近ではgifsなどが動的にマウント場所を決めてくれるため、出番が少ない。HDDを足した場合・USBメモリやSDカードを場所固定でマウントしたい場合、などを使うこともある。

Full Circle Magazine

知識

'07年からインターネット上で配布されている、コミュニティベースのUbuntu月刊誌（英語）。Ubuntuとそのアプリケーションの使い方やUbuntuファミリーの紹介、読者からのQ&Aや体験談といった「Ubuntuをインストールしたあと、何をしたいか悩む人」が読むと大変参考になる記事が満載されている。http://fullcirclemagazine.org/

gconf-editor (設定ヒトヤ)

操作

GConf経由で、GNOMEの各種アプリケーションの設定を操作するツール。GConfは設定データベースであり、システム管理者が簡単にアプリケーションごとの設定を管理できるよう設計されている。ユーザは通常、アプリケーションで用意されている設定インタフェースを用いて設定を行うが、GConf用の設定ツールを使うことで個々のアプリケーションを起動することなく細かい設定を行える。デフォルトではメニューに表示されていないので、「システム」・「設定」・「メインメニュー」で表示させる。端末用設定コマンドとして「gconftool-2」もある。よく変更する設定はコマンドとしてまとめておこう。

GDebi

パッケージ

debファイルのインストーラファイル・ブラウザ上からdebファイルをダブルクリックするだけで依存関係を解決しパッケージをインストールすることができる。基本的にアプリケーションのインストールはapt越しのみで行うべきであるが、debファイルしか公開されていない場合は、これを使うことになる。「GDebi」自体はPythonとGTK+で作成されているが、KDE4向けの「GDebi-KDE」も存在する。

gedit (テキスト・エディタ)

アプリケーション

GNOMEに標準で装備されているテキストエディタ。Ubuntuデスクトップでテキストを編集しようとする際には、通常このエディタを使用することになる。複数のファイルタブごとに表示する機能や、ソースコードの色分けにも対応している。Windowsでいうメモ帳のように思われがちだが、「gedit」だけでプログラム開発を行うことも可能なほど、高性能なエディタである。またPythonでプラグインを書くことができ、ユーザによる機能拡張も容易。Synapticから「gedit-plugins」を導入すればさまざまな機能を追加可能だ。

Ubuntuがズバツとわかる! 基本用語256

用語 148

GIMP

▼ アンインストール

Photoshopクローンなどと呼ばれることもある、高性能な画像編集ソフト。もちろんフリーソフトで、UbuntuではライブCDの段階から使用することができ。フォトレタッチやトリミングなどの画像加工に関しては必要十分な性能を持っているが、CGを描くという観点から見ると、残念ながらまだPhotoshopには及ばないようだ。もともとウェブ用の画像を作成することを前提としたソフトウェアであり、印刷物を作成することを想定していないためCMYKをサポートしていない。この点は有明まんが祭り参加者にとって致命的なようだ。

用語 150

gnome-terminal

▼ 操作

Ubuntu/GNOME標準のターミナルソフトウェア。ターミナルソフトウェアの中では特に多機能で、「Konsole」(KDEの標準ターミナル)と並ぶ設定のしやすさが特徴。

用語 151

GNU/Linux

▼ 操作

フリーソフトウェアの提唱者であり、GNUプロジェクト創始者のリチャード・M・ストールマンが、LinuxディストリビューションはLinuxカーネルと多数のGNUプロダクトを採用しているため、「GNU/Linux」と表記すべきと主張したことから使用されるようになった。DebianのLinuxカーネル採用版は「Debian GNU/Linux」が正式名称である。Ubuntuはこの手の論争を避けるために、初期を除いてUbuntuと表記しているが、「Ubuntu GNU/Linux」と表記すべきという主張も定期的に発生し関係者の笑いと涙を誘っている。

用語 149

GNOME

▼ プロダクト

PCの見た目や使い勝手に大きく関わってくるデスクトップ環境のひとつ。GNUプロジェクトの一部として、フリーソフトウェアで構成された使いやすいデスクトップ環境を提供するべく、世界中のボランティアが日夜開発を行っている。3月と9月の半年ごとにリリースが行われており、Ubuntuの4月と10月というリリース月は「GNOMEの最新リリース版を取り込んでから1ヵ月後」を目安に決定された。

用語 152

Gparted/parted

▼ 操作

UbuntuのLiveCDからも

用語 153

GRUB

▼ 操作

利用できる、GUIのパーティション操作ソフトウェア。パーティションの削除、新規作成、リサイズなどが直感的に行える。既存のWindowsパーティションを縮小し、Ubuntu用のパーティションを作成する場合などに、お世話になることが多い。なおGpartedはLiveCDには収録されているものの、HDD上にインストールされた環境には、初期状態で導入されていないため、後で使うにはインストールが必要。

「Grand Unified Bootloader」。U

buntuなどのLinux・Unix環境での標準的なブートローダー。ブートローダーとは、OSを読み込んで起動させるプログラム。これを使って、起動させるOSを選択することができる。ほとんどのファイルシステムに対応し、さらにほとんどのOSをブートすることが可能と、とても多機能。多機能なぶん、設定が複雑なため、初心者やデューアルブートをしようとする壁として立ちちはだかる。大きく分けて「GRUB1」と「GRUB2」の2系統があり、現在GRUB2への移行が始まりつつある。Ubuntuでは9・10からGRUB2となる予定。高解像度な画像を背景に使えたりする。ちなみに、「Grub」や「grub」と書く怒られるため、校正する人にとつ

用語 154

Gstreamer-Good/bad/ugly

▼ アンインストール

メディア再生用のフレームワークであるGstreamer用のコーデックは、パッケージ上「good」、「bad」、「ugly」の3つに分類されている。直訳すると善人、悪人、卑怯者で、これらはプラグインの出来やその他の諸事情によって分類されている。ユーザが使うぶんにはそれほど意識することはないので、3つともインストールすればいいだろう。「アプリケーション」・「追加と削除」からインストールできる。

ては敵である。



用語 155

GTK+

Unix

GNOMEのベースとなる共通ライブラリ的一种。GUIの各種ボタンやメニュー、デバイスまわりの制御などをすべて部品にしたもので、これを組み立ててできたアプリケーションの集合がGNOME。またGNOME本体以外にもGTK+を用いてアプリケーションを開発でき、本来面倒なGUIアプリケーションの作成を楽に行うことができるようになっていく。ユーザーが使う場合はPythonなどのラッパー(PyGTK)から使うのが普通。

用語 156

Hardy Heron

コードネーム

Ubuntu 8.04のコードネーム。通称「Hardy」。Ubuntuとしては二番目のLTSとなり、デスクトップ版は2011年4月、サーバ版は2013年4月までのサポートが約束されている。また半年ごとにポイントリリースと呼ばれる更新版が提供されることとなった初めてのバージョンであり、2009年8月時点の最新バージョンは8.04.3。ちなみにUbuntuのコードネームは形容詞+動物の名前(LTSは鳥の名前)という形式になっている。この形容詞と動物名の頭文字は必ず同じアルファベットで、バージョンが上がる

毎に次のアルファベットが使用される(例: Hardy → Intrepid → Jaunty → Karmic)。

用語 157

Hundred PaperCuts

ツィンク

Ubuntuにおける「ちょっとしたバグ」「使い勝手を損ねる問題」を修正するために生まれたプロジェクト。「PaperCut」は「紙で指を切ってしまったような、ちょっとした切り傷」のこと。9.10から開始された新しい試み。毎リリースごとに100個ずつの「PaperCut」をひたすら修正することで、Ubuntuをより使いやすくすることが目標。

用語 158

i386

知識

インテル互換CPU(x86 CPU)のうち、i386モード互換で動作するCPUの総称。また、そうしたCPUで動作するようにビルドされたバイナリの総称。「i386モード互換」とは、「現在在、普通に手に入るx86 CPU」と同義だと思つてよい。Ubuntuの標準的な環境は「i386」と呼ばれているが、これは「i386互換CPUであれば動作するように調整した、インテルアーキテクチャ向け」程度の意味である。32bit版とも呼ばれるが、インテル以外の32bit環境も存在する

用語 159

IBus

アプリケーション

Red Hatのシャネル・P・ファンが開発している新しいインプットメソッド。Fedoraでは11からデフォルトになり、Ubuntuでも9.10からデフォルトで使われることになっている。おのの機能が別プロセスで動作しており、プロセス間通信にDBusを採用しているのが特徴。「ibus-anthy」と組み合わせて日本語入力も可能であるが、現在Ubuntuで採用されている「scim-anthy」と比べると実装されていない機能も多い。現在も猛烈な勢いで開発が進んでいる。

用語 160

iceweasel

アプリケーション

Debianが採用したFirefoxのブランドینگ。「氷のイタチ」という意味。名称とアイコンが違っただけなのでさしたる問題がないと思われがちだが、ウェブブラウザをユーザ・エージェントで判別しているウェブページでは、Firefoxだと認識されずに問題となるケースもある。ちなみに「Thunderbird」は「iceweasel」、「Mozilla (SeaMonkey)」は「iceape」という名称になっている。

用語 161

img

知識

英単語「image」の短縮語。CD/DVDやHDDの内容をひとつのファイルにまとめたものを「ディスクイメージ」や「イメージファイル」と呼ぶことから、その拡張子に「img」が使われることもある。例えば、「Ubuntu Netbook Remix」は、ISOファイルではなくUSBメモリ用のディスクイメージファイルを配布していることから、その配布物の拡張子に「img」を採用している。

用語 162

Inkscape

アプリケーション

フリーのベクター画像作成ソフト。「Adobe Illustrator」のようなもの、と考えると話が早い。図やイラストを作成する際に非常に役に立つソフトではあるが、日本語入力時に変換途中の文字が表示されないなど、少々残念な点も残っている。

用語 163

Intrepid Ibex

コードネーム

Ubuntu 8.10のコードネーム。日本語に訳すと「勇敢な野生ヤギ」。LTS後のリリースということもあり、新機能が積極的に採用されるはずだったが、多くの無茶な機能が9.04送りとなったため、コードネームはやや肩すかしとなつてしまった。9.04がリリースされた今では、あえて選択する意味はないかもしれない。

用語 164

IPAフォント

デザイン

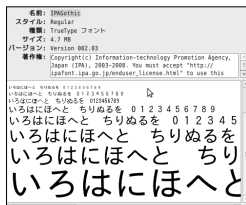
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公募で買い上げ、改良して無償で提供しているフォント。今までに3回リリースされ、いずれもライセンスが異なる。三度目の正直でOS標準フォントになったが、いくつか問題が発覚して広く使用されるには至っていない。UbuntuをはじめとしたフリーなOSで使われるのはもちろん、「OpenOffice.org」の相互運用性向上にも使われている。

定番のグラフィックソフト



■ロゴやイラストを制作するのに便利なドローソフト。パスやレイヤー、ベジェ曲線なども扱える。

IPAゴシック



■Ubuntu 9.04では標準フォントではなく、日本語環境セットアップ・ヘルパでインストール。

Ubuntuがズバツとわかる! 基本用語256

用語 165

IRC

Unix

「Internet Relay Chat」の略で、IRCサーバと呼ばれるサーバを介して、複数のクライアントでチャットを行うシステム。ネットワークを構成しているサーバ群のどこかに接続すれば、他のサーバに接続しているユーザともチャットが可能なのが特徴。Ubuntuコミュニティのミーティングは、開発者が世界中に散らばっていることもあり基本的にIRCを利用している。なおJapanese Teamでも、日本時間で毎週火曜日の22時から定例IRCミーティングを行っている。

用語 166

ISO

知識

工業分野における標準規格を策定する団体である国際標準化機構のこと。この団体が標準化したCDROMのファイルフォーマットがISO9660であることから、この規格に対応したCDイメージファイルの拡張子に「.iso」をつけ、「ISOファイル」、「ISOイメージファイル」と呼ばれている。UbuntuのインストールCD（ライブCD）もISOファイルとして配布しており、ダウンロードしたISOファイルをCD書き込みソフトウェアでCDRなどに焼くことになる。

用語 167

Jaunty Jackalope

コードネーム

「俊敏なツノウサギ」。2009年9月現在におけるUbuntuの最新リリースである、9.04のコードネーム。ツノウサギとは鹿のような角を持ち、高速移動するという未確認動物。Ubuntu史上初めて「空想上の動物」の名を持つリリースであり、「伝説の生き物」となるか、はたまた「素性の怪しい合体怪獣」になるか周囲をハラハラさせた。実際のところかなり安定したリリースであり、高速なマシンでは起動時間が10秒を切るなど、ツノウサギの名に恥じない活躍を見せている。

用語 168

JD

アプリケーション

Linux上で動作する2ちゃんねるブラウザ。2ちゃんねるのほかにも、同系列の掲示板であるしたらば、まちBSなどにも対応している。2ちゃんねるの仕様変更によりバージョンアップを行わないと書き込みが出来なくなってしまうことがあるが、ディストリビューションのリリース後にソフトウェアのバージョンを上げることが原則として出来ないため、Japanese Teamのリポジトリで対応済みの最新版を提供している。なお上流であるDebian GNU/Linuxのパッケージメンテナは「やまねひで

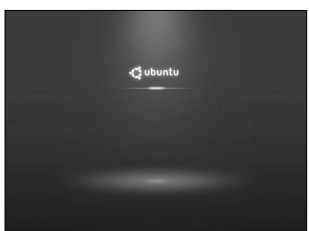
用語 169

Karnic Koala

コードネーム

2009年10月のリリースに向けて開発が進んでいる、次期リリース版のコードネーム。日本語に訳すと「霊的なコアラ」。Ubuntu動物園のメンバーの中で唯一の「辞書を引かないでもどんな動物かわかる」コードネームである。その由来はAmazon EC2互換のクラウド環境を構築する「Eucalyptus」（ユーカリの意）から。次のUbuntuは「家庭でAmazon EC2互換なクラウド環境を提供……ってマジ？」

10月にコアラがやって来る



■全体のイメージカラーがおなじみの茶色ではなく、シックなモノトーン調になるというのも話題に。

用語 170

KDE

プロダクト

「K Desktop Environment」の略で、GNOMEと並ぶ代表的なデスクトップ環境。Ubuntuの公

用語 171

kill

Unix

端末から実行するコマンドのひとつ。プロセスにシグナルと呼ばれるメッセージを送ることができ、killという名前前のとおり、正常終了しなくなったプロセスを強制終了させるシグナル（SIGKILL）を送ることによって使われるが、実際は強制終了だけでなくさまざまなシグナルを送ることができる。「親（プロセス）を殺せばOK」といった、逮捕されそうな表現が使われることもある。

用語 172

Kubuntu

プロダクト

デスクトップ環境にKDEを採

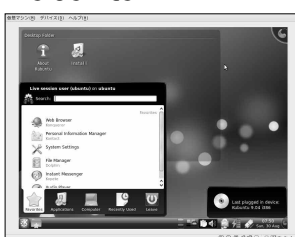
用語 173

KVM

アプリケーション

Ubuntuでは「Kernel-based Virtual Machine」を指すことが一般的。これはオープンソースな仮想化技術のひとつであり、x86の仮想化拡張技術を用いて高速に仮想マシンを動作させることが特徴。Ubuntuにおいては、サーバ版の特色のひとつとして積極的に修正・改良が行われており、仮想サーバブライアンズやクラウドコンピューティングの基盤技術となっている。

Kubuntu



■美しいデスクトップのKubuntu。9.10では「Kubuntu Netbook Remix」もリリース予定だ。

用したUbuntuの公式派生バージョン。SUSE、Knoppixなどが脱落したため、KDEを採用したメジャーなLinuxディストリビューションとしては最大手となっていました。青色を基調としたテーマ、KDEの特徴であるWindowsに似た操作性、そして多様なカスタマイズと、非常に強力である。ただし日本語環境で使用するには問題も多く存在しており、毒舌家には「苦痛」などと呼ばれてしまうかわいそうな子である。

効率よく実行できるようになっている。

用語 174

Launchpad

フリーソフト

フリーソフトウェア開発のための開発ウェブサイト。ソースコードホスティングやバグトラッキングのほか、新機能の要望をトラッキングする「Blueprints」や、ウェブベースでの翻訳インタフェース「Rosetta」を備えている。誤解されがちだがUbuntu専用サイトではなく、Ubuntu以外にも多くのフリーソフトウェアがLaunchpad上で開発を行っている。Launchpad自身がフリーソフトウェアライセンスではないという批判もあったが、2009年7月21日にくれぐれ「GNU Affero GPLv3」でリリースされた。

用語 175

LPIA

知識

「Low Power Intel Architecture」の略。i386をベースに、省電力にチューニングしたインテル互換CPUのこと。もとはインテルの用語なので、要するにインテルAtomシリーズのことである。これらLPIAなCPU（要するにAtom）に向けてチューニングされたバイナリを「LPIA向けバイナリ」と言ったりする。「Ubuntu Netbook Remix」や「Ubuntu MID」はこの「LPIA向けバイナリ」でインストールされており、数パーセントだがi386よりも

用語 176

LTS

知識

「Long Term Support」の略で、これはデスクトップ版で3年、サーバー版では5年という長期間のサポートが約束されている特別なリリース。ただし、ここでサポートされるのは「main」と「restricted」に所属するパッケージのみであるため、「universe」のパッケージを使っている場合は注意が必要だ。またUbuntu 8.04はLTSだが、Kubuntu 8.04はLTSではない。またUbuntu 8.04はLTSではないといった形で、守備範囲ごとにサポート期限が違ふこともあるので注意。

用語 177

M+ Fonts

デザイン

森下浩司氏が個人で製作している、自由に利用可能なゴシックフォント。和文用フォントとしてひらがな、カタカナ、教育漢字を網羅しているほか、常用漢字の対応数も着々と数を増やしている。欧文用フォントとしてギリシャ文字、ラテン文字拡張、IPA（国際音声記号）といった文字の追加にも積極的で、海外からも高い評価を得ている。

用語 178

main

パッケージ

Ubuntuのソフトウェアリポジトリを構成する、4つのコンポーネントのひとつ。フリーソフトウェアであり、Ubuntuチームによるサポートが保証されたソフトウェアがここに分類される。また、セキュリティアップデートやカンニカルによるテクニカルサポートの対象となることが保証されているのも、このコンポーネントの特徴である。

用語 179

make

Unix

プログラムをコンパイルする際によく実行するコマンド。コンパイルのためのコマンドだと誤解されがちであるが、実際は「makefile」の記述に従い、一連の操作を実行するコマンドである。また、処理対象となるファイルの更新時刻を比較し、更新が行われていないファイルの処理はスキップすることができるといった特徴を持っている。

例えば「ホームディレクトリ内の任意のファイルをアーカイブし、別のディレクトリへバックアップする。ただしファイルの更新が行われていなければ処理をスキップする」というような作業は、「make」コマンドで実現することが可能である。

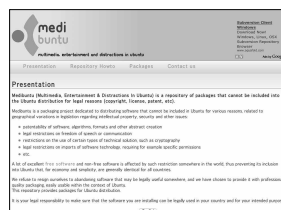
用語 180

Medibuntu

プロダクト

法律上の理由などにより、Ubuntuのリポジトリに含めることができないパッケージを集め、提供しているリポジトリ。あくまでリポジトリであり、独立したディストリビューションではない。主にDVD再生用のライブラリや、各種コーデックなどが含まれている。

Medibuntu



■DVDを再生するにはMedibuntuリポジトリから「libdvdcss2」をインストールする必要がある。
<http://www.medibuntu.org/>

用語 181

mentes186+

操作

システムに搭載されたメモリの動作をチェックするソフトウェア。フロッピーやISOなどからブートして利用するのが基本だが、UbuntuのDesktop CDには「メモリテスト」という名目でこれが含まれている。不具合があると、不具合を発見したメモリ上の番地を赤く表示してくれる。新しくPCを購入したり、メモリを増設してみたりした場合、一度はこれを実行しておくべきである。初期不良っぽければ、購入店で相談して

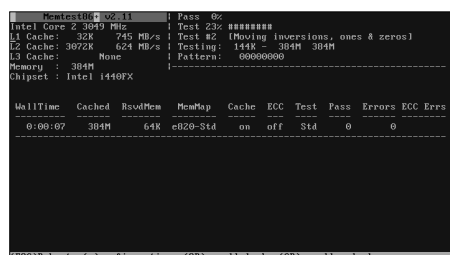
用語 182

Metacity

知識

現在のGNOME標準ウィンドウ・マネージャ。シンプルで使いやすいがその反面カスタマイズ性は低く、「使い慣れたあのOSと同じ挙動にしたい!」と思ってカスタマイズを始めると、ウィンドウの動作から枠からボタンの配置まで、まったく何も設定できない、ということがあるのが難点。これらはテーマファイルを自作しないと修正できないため、いじりたい人はKDEを使うといいだろう……というのが定型文のようになっていたのだが、最近ではCompizなどかなり好き勝手に設定できるようになってきたため、KDEの影が薄くなっている。なお、「Metacity」以前は「Enlightenment」がGNOME標準のウィンドウ・マネージャだった。

メモリーテスト



■ライブCDから実行できるので、手軽にメモリーの不良を発見できる。

みよう。

用語 185

Moblin

▼ プロダクト

インテル社員が中心になって開

用語 184

ML

▼ 「ミ」ニ「ミ」

メーリングリストの略。代表メールアドレスへメールを送信すると、購読者全員へメールが配送される仕組み。さまざまなコミュニティで、情報交換のためによく用いられている。Ubuntuでも、カーネルチーム、サーバチームなどが独自のメーリングリストを持ち、開発情報を共有している。Ubuntu Japanese Teamでは日本語で参加できる「ubuntu-jp@lists.ubuntu.com」を運営している。

用語 183

MID

▼ 知識

モバイルインターネットデバイス。PDAとネットブックの中間的なカテゴリで、「ポケットに入る程度」の大きさで、インターネットに接続して利用するデバイス」といった扱い。日本国内ではノキアのN8x0シリーズやかつてのザウルス、Android端末の一部が該当すると思えばよい。UbuntuにもMIDを対象にした「Ubuntu MID」が存在する。

用語 187

multiverse

▼ パッケージ

Ubuntuのソフトウェアリポ

用語 186

MOTU

▼ 「ミ」ニ「ミ」

「Masters of the Universe」の略で、universeコンポーネントに属するパッケージを管理する集団。「Ubuntu Developer」とも呼ばれる。メンバーはMOTU評議会によって審査され、パッケージング作業・バグ修正などで十分な実績と経験を積んでいると認められた人たちがばかりである。

Ubuntu版Moblin



▲ネットブックなどに採用される予定の「Ubuntu Moblin Remix」。

発が進められている、「Atomで使いやすいLinux」のプロトタイプ兼デモンストレーション環境。デスクトップ効果を多用した、アニメーションするGUIと、超高速起動が特徴。これをベースに、近日「Ubuntu版Moblin」がリリースされる予定である。乞うご期待。

用語 188

nano

▼ 知識

ジトリを構成する、4つのコンポーネントのひとつ。ノンフリーなライセンスで提供されるソフトウェアのうち、コミュニティやソフトウェアの開発元によってパッケージのメンテナンスが行われるソフトウェアが、ここに分類される。具体的にはサンノVAなどが該当する。

標準のコンソールエディタ



▲画面下部に操作メニューが表示されているので、比較的作業しやすい。

Debian GNU/LinuxやUbuntuにおいて、コンソール上で使用する標準エディタ。端末上で「nano」と入力すれば起動する。「Ctrl」+「x」キーで終了。「vi」や「Emacs」ほど変態的ではなく、一般的なテキストエディタと同様な操作体系を持っている。そのため、Windowsに慣れたユーザーでも違和感なく操作することができる。だつてカーソルキーを押すとカーソルが動くんだぜ? でも保存は「Ctrl」+「o」、終了が「Ctrl」+「x」だつたり、微妙に変態ちつく。

用語 189

Nautilus

▼ アプリケーション

GNOME標準のファイル・マネージャ（ファイルブラウザ）で、Windowsでいうところの「エクスプローラ」である。もともとの開発は倒産したEazel社によるもので、その生い立ちがドットコム・バブルの残滓である。その後も開発は継続し、軽く、使いやすくなった。GVFSというバックエンドと組み合わせ、ローカルのファイルはもちろん、リモートのファイルにもアクセス可能である。隠し機能として、「Ctrl」+「t」キーでタブ表示にも対応する。

標準ファイル・マネージャ



▲Synapticで検索すると多くのプラグインがあり、さまざまな機能を追加できる。

用語 190

Netbook Remix

▼ プロダクト

ネットブック用のUbuntu（Ubuntu Netbook Remix）。略称「UNR」。専用のランチャー画面、常にウィンドウが最大化して表示されるなど、狭い画面でも使いやすい。

用語 191

NetworkManager

▼ アプリケーション

すいGUIや、個人向けに特化したアプリケーションの選定が特徴。ネットブックはたいいてい光学ドライブ（CDやDVDドライブ）を持たないため、USBメモリにインストールイメージを導入し、ライブUSBから起動してインストールを行えるようになっていた。各種ネットブック向けのテストがひんぱんに行われており、テストとしてマーク・シャトルワースがさりげなく参加していて、関係者をどきに驚愕させる。

さまざまな接続をサポート



▲Ubuntuでは通知スペースの接続マークを右クリックで起動できる。

Red Hatが主体となって開発している、ネットワークの設定を簡便にするツール。サーバとクライアントからなる。無線・有線LANの設定はもちろん、モデムからのダイヤルアップやVPNの設定も可能である。これの登場前からずっといじりつづけてきたが、仕様が複雑などの理由で開発者からは敬遠されることもある。例えば、インテルはMoblinでこれを採用せず、独自のものを作成している。

用語 192

NotifyOSD

▼ アプリケーション

Ubuntu 9.04 から実装された通知機能。これまで採用していた「notification-daemon」置き換えるため、わかりやすさかつ小ささに主眼を置いて開発されている。「libnotify-bin」パッケージをインストールし、端末から「notify-send (任意の文字)」でいつでも誰でもNotifyOSDを表示できる。ちなみにOSDは「On Screen Display」の略。

システムのお知らせ



■接続状態やアプリからの通知を表示してくれる。ポップアップするので目をひく。

用語 193

NTFS

▼ 知識

「NT File System」の略。Windows NT/2000/XP/ビスタ/7で標準的に利用される、現在のWindowsの標準ファイルシステムである。Ubuntuからの読み書きも可能。ただし、仕様が公開されていないものを開発者の血と汗と涙で動かしているため、「nt

ちおう動いています」というもの。常用はそれなりにキケン。データのやりとりをしなければFAT16/32を使おう。

用語 194

NTLDR/BOOTMGR

▼ 知識

Windowsで使われるブートローダー。「NTLDR」がWindows XPまでの、「BOOTMGR」がVista、Windows 7のブートローダーである。「HDDの最初のあたりに入っていて、起動するOSを選ぶためのもの・Windows パージョン」と思っておけばよい。実際にはHDDの先頭部分(MBR)に入っているのは「どこにNTLDRその他があるのか、そこへジャンプ!」ぐらいの情報で、実際にはWindowsなどが実際にインストールされたパーティションに本体がある。

用語 195

NTP

▼ 知識

「Network Time Protocol」の略。ネットワークを通じて機器の時刻を正しく設定するためのプロトコルのこと。NTPデーモンを起動しておくことで、自動的に上位のNTPサーバと自身の時刻を同期することが可能。ほか、他の機器へ対し時刻を提供するサーバになることができる。またNTPデーモンを起動しなくても、「nt

用語 196

openDesktop.org

▼ デザイン

「openDesktop.org」はオープンソースコミュニティ向けのSNSであり、ユーザ登録すれば誰でもライセンスに適合したアプリケーション・壁紙・アイコン、テーマなどを投稿できるサイト。ダウンロードだけでなくユーザ登録は必要

「update」コマンドを使うことで上位のサーバと時刻を同期することが可能。ただし、NTPデーモンと「ntupdate」コマンドは共にUDPのポート123を使用するため、同時に使用することはできない。

用語 197

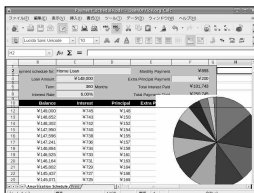
OpenOffice.org (ooo)

▼ アプリケーション

サン・マイクロシステムズやその他の企業、および多数の個人によって開発されているオープンソースでマルチプラットフォームなオフィススイート。ある程度はマイクロソフトオフィスと互換性がある。傘下として、「GNOME-look.org」や「KDE-Look.org」、「UbuntuArt.org」といったデスクトップ環境、ディストリビューションに特化したサイトも用意されており、それぞれの環境にあわせて好みのコンテンツを探すこともできる。

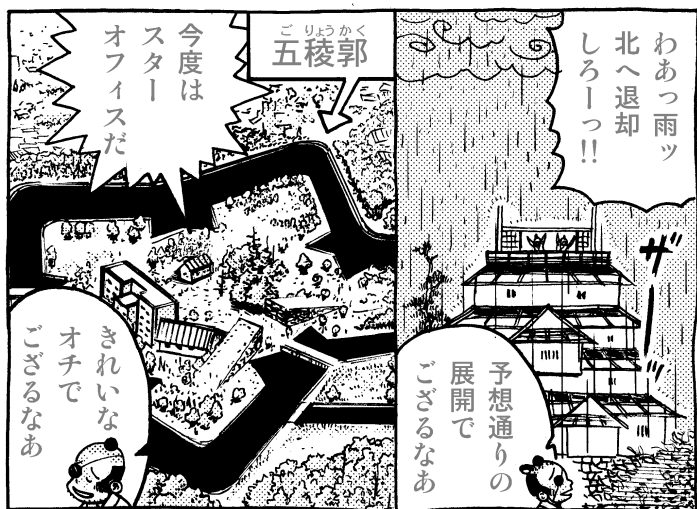
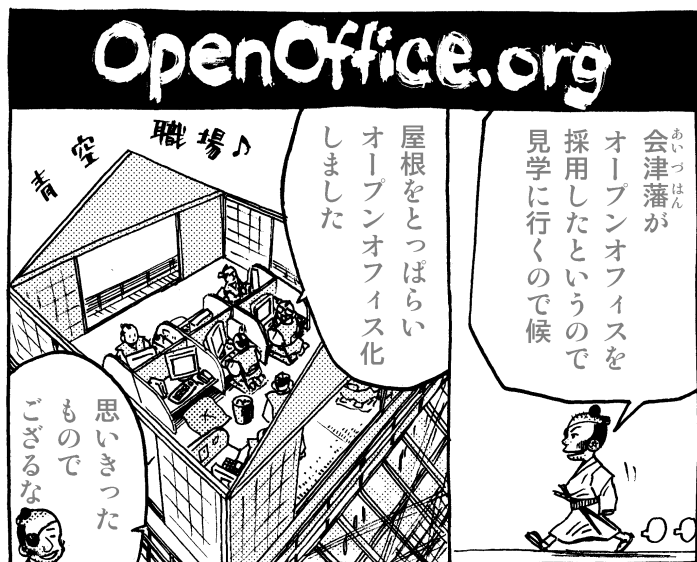
ない。傘下として、「GNOME-look.org」や「KDE-Look.org」、「UbuntuArt.org」といったデスクトップ環境、ディストリビューションに特化したサイトも用意されており、それぞれの環境にあわせて好みのコンテンツを探すこともできる。

高性能オフィススイート



■Linuxはもちろん、Windows版、Mac版、Solaris版もある。最新バージョンは3.1.0。

る。ワープロの「Writer」、表計算の「Calc」、図形描画の「Draw」、プレゼンテーション作成の「Impress」、データベースの「Base」などからなる。マイクロソフトオフィスとは違い、これらは全部ひとつのアプリケーションとして提供されており、起動時のオプションで切り替えているだけである。サン・マイクロシステムズは商用版として「StarOffice」(日本では「StarSuite」)を販売している。



用語 198

Pidginインターネットメッセンジャー

アプリケーション

AIM、Yahoo、MSN、Google Talkなど、多数のプロトコルに対応した、Ubuntuデスクトップが標準で装備しているメッセンジャーソフト。なんとIRCにも対応しているため、PidginからIRCミートイングに参加することも可能である。しかしUbuntu 9.10では、別のソフトへの置き換えが予定されている。

用語 199



◆Pidginの次に標準のインスタントメッセンジャーとなりそうな「Empathy」の外観はPidginそっくり。

PlayOnLinux

アプリケーション

「Wine」を用いることで、Windowsの各種ソフトを動作させることができるユーティリティのこと。Wineのフロントエンド（別項参照）の一種。「Play」というだけあり、主な対象はゲームなのだが、Wineを用いるソフト全般を動かすためのGUIとして利用することが可能。ただし、動くものは動くが動かないものはどう

やっても動かない、というレベルなので、期待して試すとがっかりすることもあり。

ゲームのための環境作り



◆各種ソフトウェアのWINE環境を設定してくれる。ゲームはもちろん、IEなどのブラウザの設定もある。

用語 200

PPA

パッケージ

「Personal package archives」の略。Launchpad上に個人やプロジェクト単位で持つことができる、パッケージ配布用の専用リポジトリを提供する仕組み。ソースパッケージをアップロードすると、i386/AMD64/LPIAの各アーキテクチャ向けのバイナリがビルドされ、正常に完了するとhttp://ppa.launchpad.net/で公開される。リポジトリを提供してくれるため、カスタムパッケージをaptでインストールすることができるというメリットがある。

用語 201

Python

プログラミング

Ubuntuで標準的に利用されているプログラミング言語のひとつ。

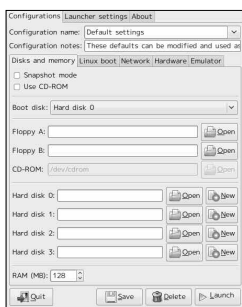
用語 202

QEMU

アプリケーション

x86だけでなく、ARMやMIPSなど数多くのCPUに対応したCPUエミュレータ。CPUや周辺機器も含めてシステム全体をエミュレートする仮想マシンを構築できるだけでなく、あるCPU向けに作られたバイナリを別のCPU上で動作させるユーザーモードエミュレーションと呼ばれる機能もある。

仮想マシンを作れる



◆「Qemu」などのソフトを使って仮想マシンを簡単にほかのOSを試すことができる。

用語 203

Remix

知識

Ubuntuにおいて、「派生したものを表す単語。音楽などの「リミックス」と同じである。Ubuntuでは「○○版」(Edition)という表現は公式に認定を受けなくては利用できないと定められているため、いわゆる派生版は「○○Remix」という表現がおなじみ(だいたいな)。

用語 204

restricted

パッケージ

Ubuntuのソフトウェアリポジトリを構成する、4つのコンポーネントのひとつ。カノニカルによってパッケージのメンテナンスが行われるが、ライセンスがノンフリーなソフトウェアがここに収録される。具体的には、NVIDIAやATIのグラフィックドライバなどが該当する。

用語 205

RHEL

プロダクト

「Red Hat Enterprise Linux」の略。旧Red Hat Linuxから分離された、企業向けの安定性重視のLinuxディストリビューション。現在では単に「Red Hat」と言

用語 206

Rhythmbox/オーディオ・プレイヤー

アプリケーション

Ubuntuデスクトップ標準のミュージックプレイヤー。アップルの「iTunes」とよく似たインタフェースを持っており、アーティスト、アルバムごとに曲を分類して管理することができる。またポッドキャストの再生や、iPodなどの同期にも対応し、アルバムアートの表示、ネットワークでの音楽共有を可能にするDAPクライアント機能やLast.fmのサポートなど多機能で人気がある。次期バージョンであるUbuntu 9.10では、同様のミュージックプレイヤーである「Banshee(バンシー)」への置き換えが検討されている。

次の標準プレイヤー



◆「Banshee」は「Rhythmbox」にそっくり。iPodなどの同期も多機能サポートしている。

シェル操作において、一時的に別のユーザーの権限（たとえばroot権限）を使うためのコマンド。「sudo vipw」などのように、「sudo」のあとに別のユーザーとして実行したいコマンドを連ねる。GUIでは「gksu」または「gksudo」が用いられるが、機能はほとんど同じである。Ubuntuの標準設定では「自分のパスワード」を入力して権限を取得するが、このときの入力は何も表示されないのが、初心者の間は「壊した!」と思いがちである。ここでは何も表示されない状態で入力するのが正解。

用語 218

sudo

操作

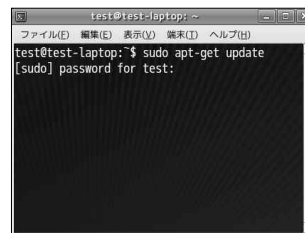
ソフトウェアは一度リリースされると、開発中に比べて更新頻度よりも安定性を求めるユーザーの割合が多くなるため、Ubuntuでは原則として大多数のユーザーに影響を与えたり、ソフトウェア自体が使えなくなるような不具合を修正する場合のみアップデートが行われる。また、アップデートの際には理由の説明や複数の開発者による承認、proposedリポジトリでのパッケージのテストといったプロセスを経る必要がある。このプロセスを「Stable Release Update」と呼ぶ。

用語 217

SRU (Stable Release Update)

知識

sudoでルート権限



■コマンドの前に「sudo」を付けて入力することでroot権限を得る。パスワードは入力しても表示されない。

「Switch User DO」または「Super User DO」の略とされている。

用語 219

Superキー

操作

Ubuntuにおいては、キーボードのWindowsキーのこと。主に3Dデスクトップを使用する際のショートカットとして利用される。古代のマシンの中には本当に「Super」と書かれたキーを持つマシンが存在しており、そこから長い歴史を経て、21世紀の現在では「今のキーボードにはないから、Windowsキーで代替」ということになっている。ちなみに、本物のSuperキーがあるマシンには「Hyper」というキーも存在したりする。Compizの効果キーを割り当てることが多い。

用語 220

swap

知識

物理的なメモリ（実際にコンピ

システム・モニタで確認



■swapの消費量が多めに高い場合はメモリを増設する必要がある。動作が重いときは確認してみよう。

ユーティリティに搭載されているメモリ以上のデータを扱うために、HDDの一部に「擬似的なメモリ」として扱えるデータを置くことで、使えるメモリの量を増やす技術。またはその領域。Windowsでは「ページファイル」と呼ばれているもの。swapが全く存在しないシステムは問題だが、swapし続けるような場合はメモリ増設を検討するべきである。端末で「cat /proc/swaps」と入力するか、「システム・モニタ」を起動することでswa pの消費量を確認することができ。swapファイルはswa pパーティションに置かれ、Ubuntuインストール時にシステムのパーティションとは別に作成される。

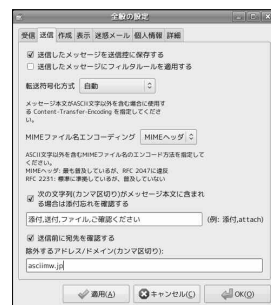
用語 221

Sylpheed

アプリケーション

Windowsの人気メールソフト「Becky!」に似た3ペイン表示のインタフェースを持つ、フリーの国産メールソフト。非常に軽量、多機能なうえ、外部プラグラムとの連携も容易なため、柔軟なカスタマイズが可能。以前はUnix、Linux上でのみ動くソフ

細かな設定が可能



■「添付」ということが本文に入っていたらファイルの添付忘れを確認してくれる機能まで装備。

トであったが、現在はWindows版の提供も行われている。Ubuntuでは、「日本語環境セットアップ・ヘルプ」からインストールできる。なお作者の山本博之氏は、一部では神と呼ばれるほどの超高水平プログラマーである。

用語 222

Synaptic

パッケージ

パッケージの検索、追加、削除などができる管理ツール。「システム」・「システム管理」・「synaptic パッケージ・マネージャ」から起動する。もともとはコネクティバ社（現在はマンドリバ社）が開発した、APT for RPM用のapt-getフロントエンドだが、オリジナルのapt-getのフロントエンドにもなる。十分な機能を持つが、独特なユーザ・インタフェースで、使い勝手が良いとはいえない。普段はアプリケーションメニューの「追加と削除」を使用し、それだとしてもインストールできないパッケージの場合のみ、これを使うようにするといいたいだろう。

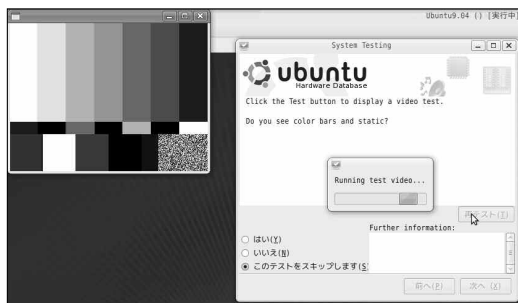
用語 223

System Testing

アプリケーション

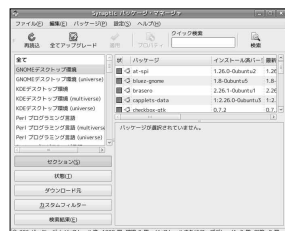
システムに関するハードウェア情報を抽出し、サウンド再生やネットワーク接続などが動作しているかどうかをユーザに確認し、その結果をLaunchpadに報告するツール。ホームディレクトリの「checkbox」以下にも結果が保存される。「システム」・「システム管理」・「System Testing」から起動できる。

動作確認情報を報告



■音は出るか、解像度は正しいかなどひととおりハードウェアの動作をチェックできる。

パッケージ管理ツール



■パッケージの追加、削除だけでなく、インストールされているパッケージを確認するのに使える。

用語 224

Tab補完

操作

「Tab」キーによる補完の総称。bashなどの高機能なシェルに搭載されている、「bと入力」→「Tabキーを押す」→「bash」まで補完されるという機能。コマンドヒストリ機能とともに、一度慣れると手放せない機能なため、Tab補完が効かない環境でも「Tab」キーを連打してしまい、空しく文字がインデントされる光景がしばしば見られる。実はATOKやscim-anthyなどでも同種のTab補完が利用できるようになっており、「省入力変換」などと呼ばれている。

用語 225

tarball (ターバル)

Unix

Unixでのソースコードの配布形態。Unixでは複数のファイルをtarでまとめる(アーカイブする)ことが多く、このまとめた状態のことを「tarball」と呼ぶ。tar玉はその日本語訳。「tarアーカイブファイル」というのが正しい表現だが、tarballと言った場合、たいてい中身はソースファイルである。多くはtarでまとめられたうえに、gzipやbzip形式で圧縮した形式で配布されており、「tar.gz」や「tar.bz2」といった拡張子がファイル名に入っている。

用語 226

team

Linuxコミュニティ

Ubuntuにおける、開発者やボランティアによって組まれたグループの名称。「タスク名」チームなどと呼ばれる。Ubuntu Japanese Teamもチームのひとつである。ちなみに○○(地域名)チームという、地域ごとに存在するのは「LoCo」(Local Community)チームと呼ばれ、アメリカなどでは州ごとに存在する。現在、日本を含む公認のLoCoチームは72、できたばかりで公認を待つチームが115ある。

LoCoチームリスト

Team	Contact	Wiki Page	IRC channel	Main mailing list
Team Contacts	Jonathan	LoCoTeams	ubuntu	http://team.ubuntu.com/team-contacts/
Ubuntu Team	Team	Team	Team	Team
Community Council	Community Council	Community Council	Community Council	Community Council
Forum Council	Forum Council	Forum Council	Forum Council	Forum Council

▲公認・非公認あわせ世界中に200近くのチームがあり、Ubuntuの輪を広げる活動を行っているのだ。

用語 227

Thunderbird

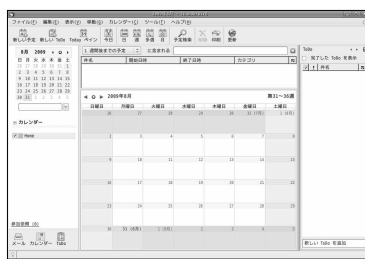
アプリケーション

Mozilla起源のフリーなメールソフト。迷惑メールフィルターやRSSリーダなどを標準装備していることや、マルチプラットフォームのアプリケーションであることが特徴。インストーラーは「システム」・「システム管理」・「日本語

環境セットアップ・ヘルプ」からインストーラーできる。GmailとIMAPで同期できたり、Firefox同様、豊富なアドオンが用意されているなど、多機能な点でも人気がある。

WindowsキやMacでも同じ環境が利用できるため、「ブラウザはIE (Safari) だけだメールソフトはThunderbird」といったWindowsキ・Macユーザーも多いようだ。決して、「ツンデレバード」ではないし、国際救助隊でもない。変な期待はしないように。

豊富なアドオンも魅力



▲上は「Lightning」アドオンを入れた例。スケジュール管理機能を追加している。

用語 228

tmp (タイムプレイン)

Unix

Unix環境において、「一時的なファイルの置き場所」として定められたディレクトリのこと。Ubuntuでは「/tmp」。すべてのユーザが書き込めるが、自分で作ったファイルしか削除できない、という属性が与えられている。Unixによってはswapと共用される領域にあったり、メモリ上にあっ

たりとさまざまなやり方で用意されているが、再起動によってディレクトリの内容が削除されるのが通例なので、重要なファイルを置いてはならない。逆に、Xの一部のファイルなどは「再起動されたときに削除されてほしい」ためにここに置かれる。

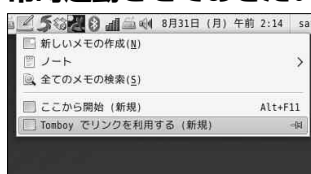
用語 229

Tomboy

アプリケーション

GNOME標準のメモツール。アナログのメモ帳のように必要に応じてメモ用紙を作成しながら内容を書き込んでいくだけでなく、Wiki形式による簡易的な体裁の変更やHTMLへの出力、他のTomboyとの同期といった機能も備わっているため、ファンが多い「アプリケーション」・「アクセサリ」・「Tomboyメモ」から起動できる。

常時起動させておきたい



▲通知スペースに常駐するので、メモとして気軽に使える。メモの検索機能もある。

用語 230

Totem (動画プレイヤー)

アプリケーション

Ubuntu標準の動画プレイヤー

標準の動画プレイヤー



▲シンプルなインタフェースだがプレイリスト再生のほか、BBCやYouTube動画の視聴なども可能。

1。といった音楽の再生も可能である。Gstreamerのプラグインを追加することにより、多数のコーデックに対応する。Totem自身にもプラグイン機能があり、YouTubeを再生したり、DLNAクライアントになったりする。「Medibuntu」リポジトリから「libdvds」をインストールすればDVDビデオの再生も可能であり、デフォルトとしては充分な機能を持っているといっていだろ。

用語 231

Ubuntero

Linuxコミュニティ

「Ubuntuのために活動することを宣言した人」のこと。開発者やメンバーとして活動しはじめた最初の段階で、「Code of Conduct (CoC)」に従って行動することを宣誓し、「自分がそれにふさわしいと思えば」誰でもUbunteroになれる。ちなみに、現在はLaunchpadにGPG鍵を登録し、それを用いて署名。登録する形が主流だが、かつてはカノニカルオフィスにアクセスで送るといった「リアル署名」もできた。

用語 232

Ubuntu Japanese Team

「リ/ヒ/キ/イ」

Ubuntuの、日本におけるローカルコミュニティチーム。代表者は小林準で、'05年夏ごろ活動開始。日本語環境向けにカスタマイズした日本語Remixの作成と配布、それに伴う独自パッケージの作成と配布、パッケージのミラーサーバの管理と保守、翻訳、メーリングリストやWiki、フォーラムの管理運営、カイゼンプロジェクト、各種イベントの運営と参加原稿の執筆(一)などを主に行っている。実はライター集団だとかお笑いグループという噂もあるが、真偽のほどは定かではない。

Ubuntu Japanese Team



■Ubuntuユーザはこのサイトを必ずブックマーク!
<http://www.ubuntulinux.jp/>

用語 233

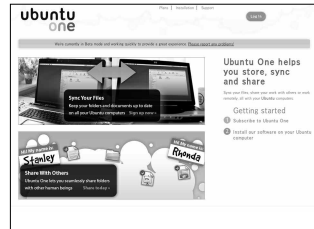
Ubuntu One

「プロダクト」

カノニカルグループが、Ubuntu 9.10での開始を目標に進めているオンラインストレージサービス。9.04でもテストは可能である。専用のツールを使用し、自分

が所有しているPC間や他者とのファイル共有が可能になっているが、それにとらわれない壮大な計画があるようなので、先が楽しみである。有償版と無償版があり、前者は月10ドルで10GB、後者は2GBのストレージが割り当てられる。

Ubuntuユーザ専用サービス!



■現時点ではDropboxに非常によく似たオンラインストレージサービス。
<https://ubuntuone.com/>

用語 234

Ubuntu Server

「プロダクト」

UbuntuのRemixの一種で、「サーバとして使う」ためのもの。Xなどはインストールされず、ログイン画面はコンソールとなる。ひたすら「サーバに使うため」に特化している。このため、徹底なくともよいならDesktopにサーバソフトを入れればいいので、自分が初心者だと思えばいい近寄らずにおくのが賢明。慣れてきてから手を出すと、一気にスキルアップができそうである。

独自性を打ち出すためか、強烈な独自ソフトウェアが投入されることが多い。『bvo』や暗号化ホームディレクトリなど、Ubuntu独自機能の一部はServer由来である。

用語 235

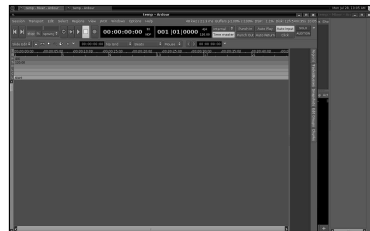
Ubuntu Studio

「プロダクト」

マルチメディア制作に特化したUbuntuの派生版。黒と青を基調としたソリッドな見た目と、音楽制作・ビデオ編集などの「スタジオ」で使われるプリインストールアプリケーションを搭載している。DAW (Desktop Audio Workstation) として利用できるように、DTMユーザーに超好評。

(楽器の) キーボードからの入力どおりに音が出るだけの応答性能を確保するため、RT (リアルタイム) カーネルも採用。

AVに特化した派生版



■Ardour2をはじめとした、DTMからビデオ編集、グラフィック制作までを網羅。<http://ubuntustudio.org/home>

用語 236

Ubuntu Weekly Newsletter

「知識」

Ubuntuコミュニティの動向やUbuntuを取り扱ったニュースサイトの記事を週刊で紹介するWikiベースの週刊誌。日本時間で毎週月曜未明に刊行。日本語に翻訳した、Ubuntuウィーク

Wikiで読める週刊誌



<https://wiki.ubuntu.com/UbuntuWeeklyNewsletter/> (英語版)
<https://wiki.ubuntulinux.jp/UbuntuWeeklyNewsletter/> (日本語版)

用語 237

Ubuntu Weekly Recipe/Topics

「知識」

「Ubuntuをより使いこなすためのテクニック」(Recipe)、「Ubuntuに関連するニュース各種」(Topics)を紹介するghy.jpの2つの週刊連載。デスクトップを便利に使う小技から、ちよつとマニアックな大技、そして開発関連情報まで、幅広くネタを紹介しており、Ubuntuユーザーなら読んでおきたいコラム。おかげさまで'09年末には連載100回を迎える予定。<http://ghy.jp/>のアドミニストレータステージで読める。と同時に、まんが『うぶんちゅー』の瀬尾先生がイラストを担当するASCII.jpのお笑(一)連載「行つとけ! Ubuntu道場!」はJapanese Teamメンバーが本音で語る、Ubuntuライトユーザのための気軽な読みもの。

この本とウェブ連載をあわせて読めば、Ubuntu最新事情はバツチリのはず!

用語 238

udev

「知識」

動的にデバイスを管理する、Linuxカーネルの機能。カメラやUSBメモリといった、システムの稼動中に抜き挿しするデバイスをコンピュータに接続したときに、ユーザが特別な設定をすることなく中身が見られたり、システムを終了せずに外したりできるのもこの機能のおかげ。

具体的には、あるデバイスが接続・切断されたときにLinuxカーネルから送られるイベントをudevが受信し、そのデバイスの詳細情報に基づいて自動的に設定を行う。さらにudevから他のデバイスマネージャにもイベントが送られ、デスクトップ上にアイコンやメッセージが表示される。

udevが裏で動いてます



■iPodやデジタルカメラなど、あらゆるデバイスが接続・切断される裏ではudevが機能しているのだ。

用語 239

UDS

Linux/Unix

「Ubuntu Developer Summit」の略。Ubuntuの開発者が一同に会して、「次のリリースではどんな機能を取り込むべきか」を議論する場所。IRCなどでも参加できるが、現地での出席にふさわしいと判断された場合、旅費や滞在費などはUbuntuプロジェクト/カノニカルに負担してもらえらる。

用語 240

universe

パッケージ

Ubuntuのソフトウェアリポジトリを構成する、4つのコンポーネントのひとつ。フリーなライセンスで、コミュニティによってメンテナンスが行われるソフトウェアがここに分類される。Ubuntuの大きな魅力のひとつは、ここに含まれるDebian由来の膨大な数のソフトウェアである。……たまに誰も使ってなくてバグっている。

用語 241

Unix

Unix

「UNIXのようなもの」を指す語。商標上の問題で、UNIX（すべて大文字）を名乗るにはThe Open Groupの認定を取らなくてはならない。このため、「これを取

つてはいないもののUNIXであること」の定義を満たしているもの」に関しては、慣習としてUnix（先頭のみ大文字）と称している。SolarisやMac OS Xは「UNIX」であり、かつ「Unix」、Linuxは「Unix」である。

用語 242

Upstream

知識

上流のこと。ソフトウェア開発の場合は「もともとの開発元」や「ベースとなったディストリビュータ」を指す。たとえばGNOMEの場合、Ubuntuから見るとDebianとThe GNOME Projectの両方がUpstream（アップストリーム）。この場合、The GNOME Project→Debian→Ubuntuと流れてきている。これを用いて見立てて、「上流（アップストリーム）」「下流（ダウンストリーム）」と呼ぶわけである。

用語 243

URI

知識

「Uniform Resource Identifier」の略。URLやURNを包括して表す単語。URLは「ものが存在する場所」、URIは「ものの名前」を示すもの。現在の定義では「http://」をURLと呼ぶことは実は誤りであるが、これを言い始めると論文

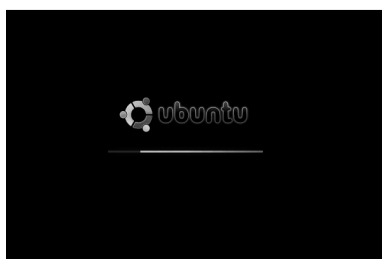
用語 244

usplash

操作

がひとつでできかねないぐらいに語らねばならないことがあるので、大変抽象的ではあるが、「あるものを指し示すもの」だと思っておけばよい。ユーザーからしてみれば、「なんかhttp://とかmailto:とか、file:とか、URLっぽい表記をするもの」だという大ざっぱな理解でもいいかも。

起動・終了時でおなじみ



■「StartUp-Manager」というツールを導入すると、GRUBやスプラッシュの設定を変更できる。

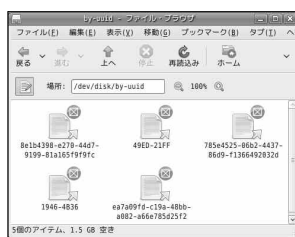
用語 245

UUID

知識

「ある存在が、他とカブらずに存在する独自なもの」であることを表すための番号の一種。「Universally Unique Identifier（汎用一意識別子）」たとえば「/etc/passwd」に書かれているディレクトリを識別するための「48a015b9-0099-...」などという番号もUUIDである。「ランダムに各自が生成しても、同じものが偶然できてしまうことがほぼありえない」という特性を持つ。実際に、ファイルシステムで「データ用のディスク」と「システム用のディスク」の区別がつかないのは致命的。このような場合ファイル名やラベルなどでは管理しきれないため、UUIDを使って管理し「取り違い」が起きないようにするわけだ。

ディスクのUUID



■「/dev/disk/by-uuid」にはディスクのUUIDが並ぶ。プロパティでリンク先を見ると、何のデバイスかわかる。

用語 246

vi

知識

Emacsと人気を二分する、Unixの代表的エディタ。実際に文

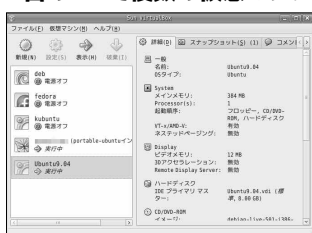
用語 247

VirtualBox

アンパケーション

字を入力するインサートモードと、キー入力をコマンドとして解釈するコマンドモードの2つを切り替えながら編集していくのが特徴。慣れれば非常に高速なテキスト編集が可能になるが、はじめてViを使ったユーザは往々にして「カーソルが動かない」「文字が入力されない」「そもそも終了できない」といった悲劇つか喜劇を体験することになる。終了操作は「ESC」キーを一度押してから「q」と入力する」である。

1台のPCで複数の仮想マシン



■複数のマシンを同時に動かせるうえ、スナップショット機能でマシンの状態を保存できる。

サン・マイクロシステムズがリリースしている仮想マシンソフトウェア。『VMware』の後追いと業界内では見られていたが、仮想マシン内でもデスクトップ効果を使えるようにしたため、Linuxユーザがデスクトップ環境を仮想化して利用する場合、非常に有効な選択肢となっている。3Dデスクトップを仮想マシンで体験したい人にお勧め。

用語 248

Vフォント

デザイン

Project Vineの鈴木大輔氏が作成しているゴシック体フォント。M+Fontsをベースに、足りないフォントを鈴木大輔氏が作成したり、さまざまなゴシックフォントを追加・変更することで補完している。フリーソフトウェアであるうえに日常生活において必要十分な文字数が揃っているため、Ubuntuでも日本語環境の標準フォントとして使われているほか、DebianやFedoraでも標準採用されている。

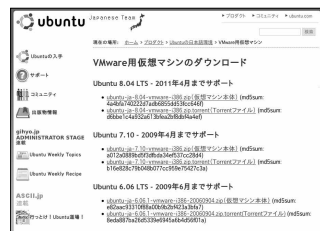
用語 249

VMware

アプリケーション

仮想マシンソフトウェアの一種。最古参の部類の仮想マシンソフトウェアで、周辺デバイスを含めた仮想化である完全仮想化・準仮想化の両方に対応している。Player (実行のみ)・Server (その名の通りサーバー向け)・Infra structure (企業で利用するための上位版)・Fusion (Mac向け) などなど、様々なバリエーションが存在する。仮想マシンイメージを積極的にウェブサイトで配布しており、この中にはUbuntuをインストールしたものも含まれているため、サクッとダウンロードすればインストール直後の状態で動いてしまう。

仮想マシンイメージ



■Ubuntu Japanese Teamでも仮想マシンを配布している。VMwareだけでなくVirtualBox用もある。

用語 250

Wiki

Wiki

訪問者なら誰でもウェブブラウザを使って編集できるウェブサイトを、もしくはそれを構築するシステムの総称。Ubuntuでは、開発者やチームがミーティングのログや技術情報をまとめる場として「Ubuntu Wiki」や、利用者向けのヘルプ集である「Community Documentation」/「Japanese Team」による日本語の「Ubuntu Japanese Wiki」などが存在する。これらはすべてPythonベースのWikiエンジンである「MoinMoin」を利用して運営されている。

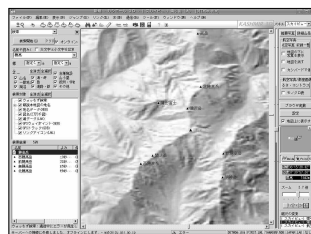
用語 251

WINE

アプリケーション

Windowsで動作するアプリケーションを、Linuxなどの他のOS環境で動作させるためのソフトウェア。内部では「Win32 API」と呼ばれる、「Windows

Win用アプリを動かす



■文書作成などは長文の日本語入力ができないため実用には向かないが、ある程度動作するソフトもある。

用語 252

Wubi

アプリケーション

Windowsが動作するHDD上に、「Windowsのファイルとして」Ubuntuをインストールし、きわめて簡単にデュアルブート可能にするためのソフトウェア。Windowsでアプリケーションをインストールする場合と同じ操作感覚でインストールを行い、再起動すると起動時のメニューが「Windows」と「Ubuntu」の2つから選べるようになる。しかも削除時にはWindowsの「アプリケーション」の追加と削除「からカランタン」に行うことができるため、気軽にUbuntuを試すことができるのだ。

Winからインストール



■USBメモリーや別パーティションへのインストールで試すより、Wubiのほうが話は早いかも。

用語 253

X

アプリケーション

LinuxやUnixにおいて、GUIを実現するための基幹ソフトウェア。読み方は「エックス」。ライセンスの問題でコミュニティが分離しており、XorgとXFree 86の2系統が存在するが、現在ではほぼXorgのみが使われている。20世紀前後では「このマシンで使われるビデオカードはこれこれ、ディスプレイはこれこれ、マウスとキーボードはコレとコレ」てな形で設定ファイルを手書きする、というやたら面倒な設定方式だったが、'07年から'09年にかけて自動設定機能が劇的な進化を遂げ、ほとんど自動的に動作するようになった。

用語 254

XFCE

アプリケーション

「エックスエフシーイー」と読む、GNOMEやKDEと並ぶデスクトップ環境のひとつ。GNOMEやKDEに比べると非常に軽快な

用語 255

xorg.conf

Unix

Xの設定ファイル。現代では「xorg.conf」を直接修正することは非常時だけが、昔のUnix環境では自力で「xorg.conf」(当時は「x186.conf」)を正しく書けることが必須条件だったため、GUIを使うまでに死屍累々の山が築かれていた。最近のUbuntuではドライバのバグ以外ではfdiファイルを利用して調整するため「/etc/X11/xorg.conf」を触る機会は減っている。

用語 256

Xubuntu

プロダクト

デスクトップにXFCEを採用した、Ubuntuの公式派生バージョン。Ubuntuよりも軽量であるため、ややロースペックなマシンを利用しているユーザに好まれる傾向がある。Xubuntuにおけるデフォルトのデスクトップの外観は、Ubuntuと揃えたデザインになっているので、Ubuntuから乗り換えても違和感が少ないのもポイント。